

天気予報に関するアンケート調査報告書

平成18年4月
気象庁

- 目 次 -

調査の背景と目的	2
調査概要	2
結果のまとめ	5
調査結果	8
天気予報全般について.....	8
（信頼度、満足度、天気予報として思い浮かべる情報）	
今日・明日・明後日の天気予報について	9
（利用率、入手媒体、重視度、満足度、不満に感じること）---	9
（「時々」と「一時」の違いがあることの認知・注目度）-----	1 4
（主要地域と一部地域での2段構成発表の認知・注目度）-----	1 5
（「所により」の表現があることの認知・注目度）-----	1 6
（放送局や新聞による予報の相違の認知率）-----	1 7
（予報を発表した気象会社名通知の希望）-----	1 7
時系列予報について.....	1 8
（利用率、入手媒体、重視度、満足度、不満に感じること）	
天気分布予報について.....	2 1
（利用率、入手媒体、重視度、満足度、不満に感じること）	
週間天気予報について.....	2 4
（利用率、入手媒体、重視度、満足度、不満に感じること）	
季節予報について.....	2 8
（利用率、入手媒体、満足度、不満に感じること）	
黄砂情報について.....	3 2
（認知率、利用率、利用目的、満足度、不満に感じること）	
紫外線情報について.....	3 5
（認知率、利用率、利用目的、満足度、不満に感じること）	

．調査の背景と目的

気象庁では、気象業務に対する意識やニーズ等を把握し、業務の改善方向を探るとともに、業務改善の成果を把握するため、気象情報の利用者の評価（満足度）を測定・把握している。

平成 17 年度は、平成 14 年度に引き続き、国民生活において広く利用されている天気予報について調査を行った。

．調査概要

1. 調査方法

住民基本台帳から任意に抽出した人にアンケート調査票を送付し、任意に回答いただく手法（以下、「郵送調査」という。）及び気象庁ホームページにアンケート画面を設け、閲覧者に任意に回答していただく手法（以下、「WEB 調査」という。）を用いた。なお、平成 14 年度調査との違いは以下のとおりである。

郵送調査	今回調査	平成 14 年度調査
調査対象	小樽市、青森市、千葉市、熊谷市、新潟市、豊橋市、堺市、福岡市、那覇市に居住する 20 歳以上の住民 (アンダ-ラインは前回も調査した都市)	小樽市、青森市、新潟市、前橋市、豊橋市、和歌山市、松江市、松山市、久留米市、鹿児島市、那覇市と東京都の江東区・杉並区、府中市に居住する 18 歳～69 歳の住民
対象者数	4,500 人 (9 都市の各 500 人)	2,800 人 (14 都市の各 200 人)
回答者数 (回収率)	1,618 人 (36.0%)	1,309 人 (46.8%)
調査期間	平成 17 年 12 月 9 日～12 月 22 日 (以降到着分も可能な限り集計した)	平成 15 年 1 月 17 日～ 2 月 5 日 (以降到着分も可能な限り集計した)

WEB 調査	今回調査	平成 14 年度調査
調査対象	右に同じ	気象庁、各管区・沖縄気象台ホームページからアンケート画面にアクセスした人
回答者数	2,169 人	656 人
調査期間	平成 17 年 12 月 8 日～12 月 26 日	平成 15 年 1 月 22 日～ 2 月 6 日

2. 調査対象者（アンケート協力者）の属性

アンケートでは、性別、年齢、職業、居住地、パソコン・携帯電話でのインターネット利用状況の6項目について答えていただいた。

なお、平成14年度調査（以下、「前回調査」という）と比較して、回答者の性別、年齢、職業の傾向に大きな変化は見られなかった。

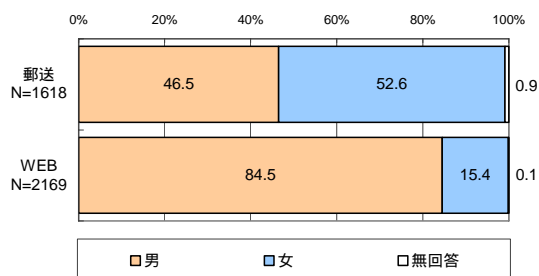
【郵送調査】

9つの市・区から、ほぼ同程度の割合で、満遍なく協力いただけていることが分かる。性別は男女が半々であり、年齢は多い順に「50歳代」「60歳代」「40歳代」となっている。職業は多い順に「専業主婦」「無職」「事務職」となっている。なお、パソコンでインターネットを利用している人は約半数であり、携帯電話でインターネットを利用している人は、4人に1人程度である。

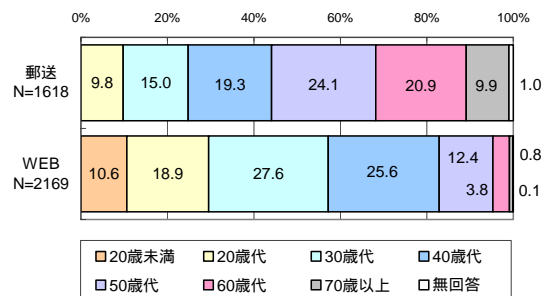
【WEB調査】

性別は、男性が85%を占め圧倒的に多い。年齢は多い順に「30歳代」「40歳代」「20歳代」となっている。職業は多い順に「技術・技能職」「学生」「事務職」となっている。なお、携帯電話でインターネットを利用している人は、約半数である。

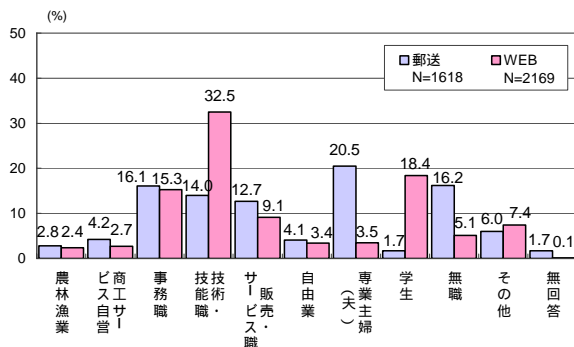
(1) 性別



(2) 年齢

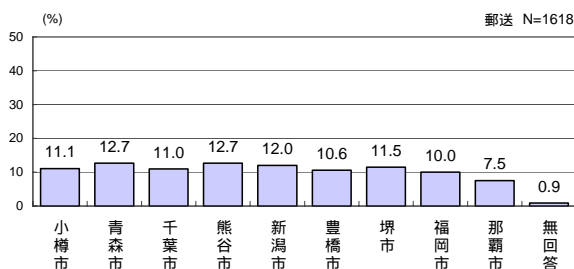


(3) 職業

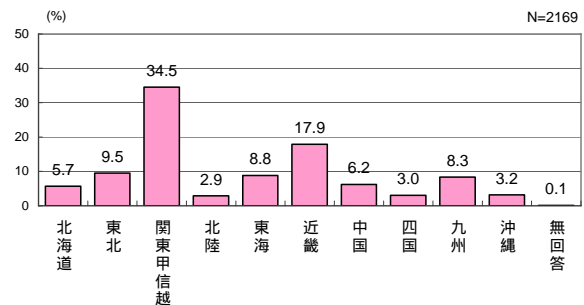


(4) 居住地

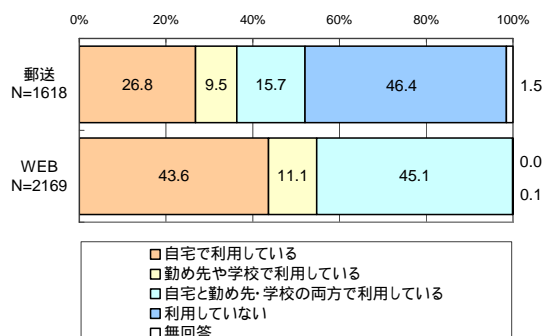
(郵送)



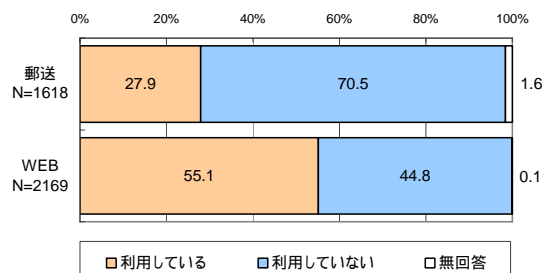
(WEB)



(5) パソコンでのインターネット利用



(6) 携帯電話でのインターネット利用



3. 集計・分析結果に用いる用語の説明

- 認知率** :
 知っているかどうかについて「知っている」「知らない」の2択で聞いたそれぞれの回答数の割合。
- 利用率** :
 どの程度利用しているのかについて「よく利用する」「時々利用する」「利用しない」の3択で聞いたそれぞれの回答数の割合。
- 重視度** :
 利用していて、どの程度重視しているのかについて「重視する」「やや重視する」「あまり重視しない」「重視しない」の4択で聞いたそれぞれの回答数の割合。
- 満足度** :
 利用していて、どの程度満足しているのかについて「満足」「まあ満足」「やや不満足」「不満足」の4択で聞いたそれぞれの回答数の割合。
- 信頼度** :
 どの程度信頼しているのかについて「信頼している」「まあ信頼している」「あまり信頼していない」「信頼していない」の4択で聞いたそれぞれの回答数の割合。
- 評価点** :
 重視度、満足度、信頼度については100点満点で測るために、「重視する(満足、信頼している)」「やや重視する(まあ満足、やや信頼している)」「あまり重視しない(やや不満足、あまり信用していない)」「重視しない(不満足、信頼していない)」のそれぞれの回答に100、67、33、0点の重み点を与えて、全体を平均した値である。

なお、評価点の「高い」「低い」をコメントする場合は、以下の基準を用いた。

100～80点	非常に高い	33～21点	低い
79～67点	高い	20～0点	非常に低い

- N** :
 有効回答数のことである。

．結果のまとめ

【天気予報全般に対する満足度、信頼度】

天気予報全般に対する信頼度は、郵送・WEB 調査ともに高く、「信頼している」「まあ信頼している」の合計が 90%に達した。また、満足度も高く、「満足」「まあ満足」の合計も郵送調査で 89%、WEB 調査で 76%に達した。ただし、「まあ信頼している」及び「まあ満足」がほとんどを占めており、積極的に「信頼」「満足」している人は少ない。これらの傾向は、前回調査と変わらない。

【予報の利用率】

「よく利用する」「時々利用する」の合計で見た場合、利用率が高い順に、「今日・明日・明後日の天気予報（93%）」「週間予報（92%）」「時系列予報（73%）」「天気分布予報（60%）」「1か月予報（46%）」「暖・寒候期予報（41%）」「3か月予報（36%）」であった（%は郵送調査のもの）。

【予報の入手媒体】

郵送調査では、どの種類の予報も「テレビ」「新聞」からの入手が圧倒的であるが、3位では「ラジオ」と「民間インターネット」が拮抗している。

WEB 調査では、「気象庁ホームページ」と「テレビ」が圧倒的で、「民間インターネット」の利用率も高い。

「今日・明日・明後日の予報」「週間天気予報」の場合、インターネットの利用は増加傾向にある反面、「電話（177）」の利用は減少傾向にある。

【各予報の重視度と満足度】

各予報の重視度と満足度の評価点^{（注）}は以下のとおりである。

予報の種類	郵送調査		WEB調査	
	重視度	満足度	重視度	満足度
今日・明日・明後日の予報（天気）	88.9	70.9	90.2	64.6
週間予報（天気）	84.8	66.7	86.8	58.9
今日・明日・明後日の予報（降水確率）	82.2	64.3	78.6	54.8
週間予報（降水確率）	78.4	63.3	72.5	52.2
今日・明日・明後日の予報（気温）	76.1	73.8	76.0	67.6
週間予報（気温）	72.1	68.6	73.7	60.1
時系列予報	71.0	66.0	75.7	62.0
天気分布予報	67.0	67.0	68.6	60.7
週間予報（信頼度情報）	53.6	56.8	56.8	48.3
今日・明日・明後日の予報（風向風速）	46.2	67.3	47.6	62.2
今日・明日・明後日の予報（波浪）	23.9	66.5	23.9	62.3
1か月予報		64.3		56.1
3か月予報		57.6		46.7
暖・寒候期予報		57.6		45.1

（注）評価点：重視度、満足度を 100 点満点で測るために、「重視する（満足）」「やや重視する（まあ満足）」「あまり重視しない（やや不満足）」「重視しない（不満足）」のそれぞれの回答に 100、67、33、0 点の重み点を与えて、全体を平均した値。

今日・明日・明後日の天気予報

「天気」と「降水確率」の予報の重視度は、評価点が郵送調査で 89 点及び 82 点、WEB 調査で 90 点及び 79 点と非常に高い。一方で、「風向・風速」予報の重視度は、郵送・WEB 調査ともに 40 点台、「波浪」では 20 点台に止まった。

なお、「波浪」の重視度は都市によって差があり、内陸及び内湾の都市で低い傾向が見られた。

波浪予報の重視度（都市別の評価点：郵送調査）

那覇市（34.0 点） 小樽市（33.9 点） 新潟市（30.7 点） 青森市（28.2 点） 豊橋市（20.4 点）
福岡市（21.2 点） 千葉市（18.2 点） 堺市（17.9 点） 熊谷市（13.7 点）

「天気」「降水確率」の予報は重視度が非常に高いものの、満足度では「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。特に、「降水確率」はその傾向が強い。

時系列予報

重視度は、評価点が郵送・WEB 調査ともに 70 点を超え高いものの、満足度では、「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。なお、重視度は、郵送調査で前回 57 点だったものが今回 71 点に、WEB 調査で前回 64 点だったものが今回 76 点にそれぞれ 10 点以上上昇した。平成 16 年 12 月から発表時間を 1 時間繰り上げたことなどから、テレビやインターネット等の様々な媒体で提供されるようになり、広く普及したためと考えられる。

週間予報

「天気」「最高・最低気温」「降水確率」の予報の重視度は、評価点が 72～87 点と高いが、「信頼度情報」は 50 点台に止まった。また、「天気」「降水確率」の予報は重視度が非常に高いものの、満足度では「まあ満足」と答えた人がほとんどであり、積極的な満足層が少ない。なお、「信頼度情報」の重視度は前回調査より 16 点減少した。その原因としては、前回調査では「信頼度情報」の発表開始から 1 年半と日が浅かったこと、前は情報例を示さなかったため、多くの人が「信頼度情報」についてイメージできないまま回答してしまったことなどが考えられる。

季節予報（1 か月、3 か月、暖・寒候期予報）

重視度については、設問数の関係から今回は調査しなかった。

満足度では、いずれの予報も「まあ満足」と答えた人が最も多かったものの、不満層の割合も多く、評価点は 45～64 点に止まった。特に、WEB 調査では、「3 か月予報」が 47 点、「暖・寒候期予報」が 45 点と 50 点を割り込み、不満足度の方が高かった。

【予報に対して不満に思うこと】

利用者全員に対して各予報の不満点を選択肢から選んでもらったところ、今日・明日・明後日予報では、「予報が外れることがある」「予報が変わることがある」が郵送調査で 60%及び 29%、WEB 調査で 53%及び 37%と多く挙げられた（複数回答のため、全ての選択肢の%合計は 100%以上となる）。この傾向は、他の予報でも同じである。このため、満足度を上げるためには予報精度の向上が最も重要である。特に、重視度が高いのに満足度が低かった以下の予報については改善要求度が高いと考えられることから、予報精度の一層の向上が必要である。

今日・明日・明後日の予報

週間天気予報

【予報に関するその他事項】

天気予報と聞いて何をイメージするか

「天気予報」と聞いて何を思い浮かべるか選択肢から選んでもらったところ、郵送・WEB 調査とも 1 位が「今日・明日・明後日の予報」(郵送 91%、WEB 80%)、2 位が「週間天気予報」(郵送 92%、WEB 70%)であった。3 位は、郵送調査が「気象予報士」(52%)、WEB 調査が「天気図」(65%)であった(複数回答のため、全ての選択肢の%合計は 100%以上となる)。

「時々」と「一時」の表現について

「時々」と「一時」の表現の存在を知っている人の割合は、郵送調査で 69%、WEB 調査で 85%と多いが、注目している人は、郵送調査で 26%、WEB 調査で 47%に止まった。注目しない理由は、「違いを重視していないから」が、郵送調査で 52%、WEB 調査で 46%を占め、最も多かった。

「所により」の表現について

「所により」の表現の存在は、ほぼ全員が知っているが、注目している人の割合は、郵送調査で 41%、WEB 調査で 58%であった。注目しない理由は、「自分のところに該当するかどうかわからないので」が、郵送調査で 74%、WEB 調査で 69%を占め、最も多かった。

テレビや新聞による予報内容の違いについて

テレビや新聞によって予報内容の違いがあることを知っている人の割合は、郵送調査で 54%、WEB 調査で 85%であった。また、予報を発表した気象会社名を「大いに知りたい」「できれば知りたい」人は、郵送調査で 50%、WEB 調査で 80%であった。なお、「知りたくない」と答えた人は、郵送・WEB 調査とも 1%未満であった。

【黄砂情報】

「よく利用する」「時々利用する」と答えた人の割合は郵送調査で 49%、WEB 調査で 44%に止まった。なお、この割合は都市によって大きな差があり、日本海側の都市で高い傾向が見られた。

黄砂情報の利用率(都市別：郵送調査)

福岡市(65%)、小樽市(58%)、那覇市(56%)、青森市(55%)、新潟市(49%)、堺市(47%)、熊谷市(40%)、千葉市(36%)、豊橋市(30%)

利用しない理由は、「利用する必要がないので」が、郵送調査で 76%、WEB 調査で 77%を占めたが、この理由としては、調査期間が黄砂の飛散が少ない 12 月であったことなどが考えられる。

利用目的は、「洗濯物を干すため」「洗車・洗浄・清掃のため」が圧倒的だが、「病気対策、健康維持のため」も多い。利用者の満足度は評価点で 69~71 点と高い。

【紫外線情報】

昨夏(平成 17 年の夏)に「よく利用した」「時々利用した」人は、郵送調査で 66%、WEB 調査で 53%であった。利用しない理由は、「利用する必要がないので」が、郵送調査で 70%、WEB 調査で 65%を占めた。利用目的は、「日焼け対策のため」が圧倒的で、次いで「病気対策・健康維持のため」となっている。利用者の満足度は評価点で 73~74 点と高い。

調査結果

1. 天気予報全般について

(1) 天気予報全般についての信頼度

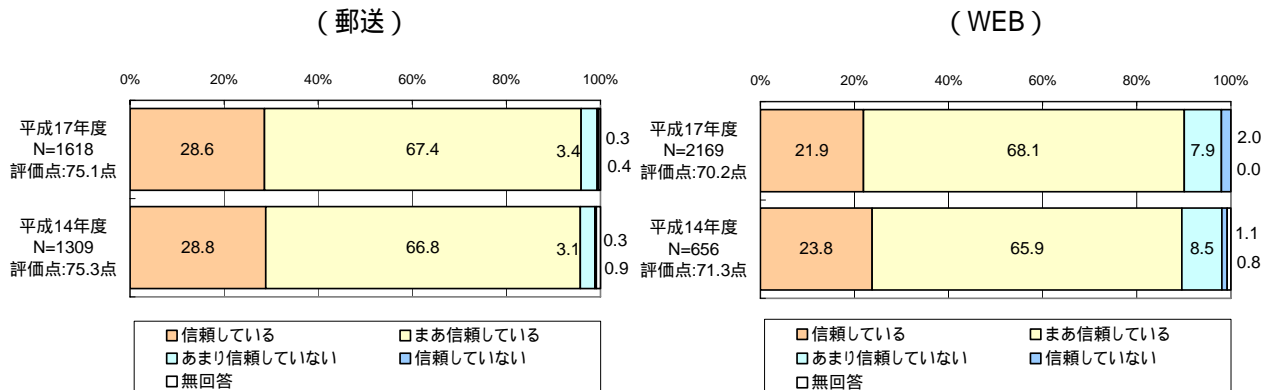
問 1-1. 天気予報の全般について、どの程度信頼していますか。

【郵送調査】

「信頼している」「まあ信頼している」と答えた人の割合が、96%に達した。また、評価点も75点となっており、信頼度は高い。ただし、「まあ信頼している」と答えた人が67%と圧倒的であり、積極的な信頼層は少ない。なお、この傾向は、前回調査とほぼ同じである。

【WEB調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。



(2) 天気予報全般についての満足度

問 1-2. 天気予報の全般について、どの程度満足していますか。

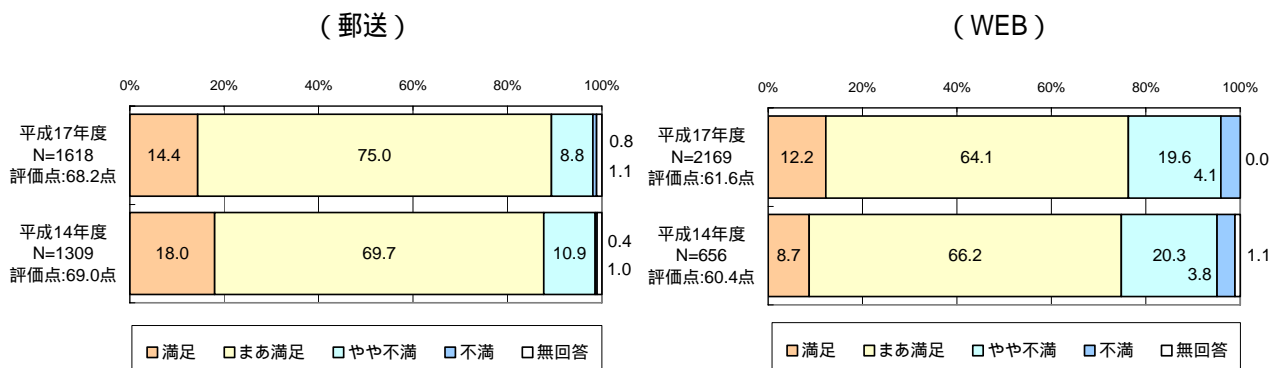
【郵送調査】

「満足」「まあ満足」と答えた人の割合が89%に達した。また、評価点も68点となっており、満足度は高い。ただし、「まあ満足」と答えた人が75%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。

この傾向は、前回調査とほぼ同じである。

【WEB調査】

郵送調査に比べると「不満」「やや不満」と答えた人が多く、評価点は62点に止まった。なお、この傾向は、前回調査とほぼ同じである。



(3) 天気予報として思い浮かべた情報（複数回答）

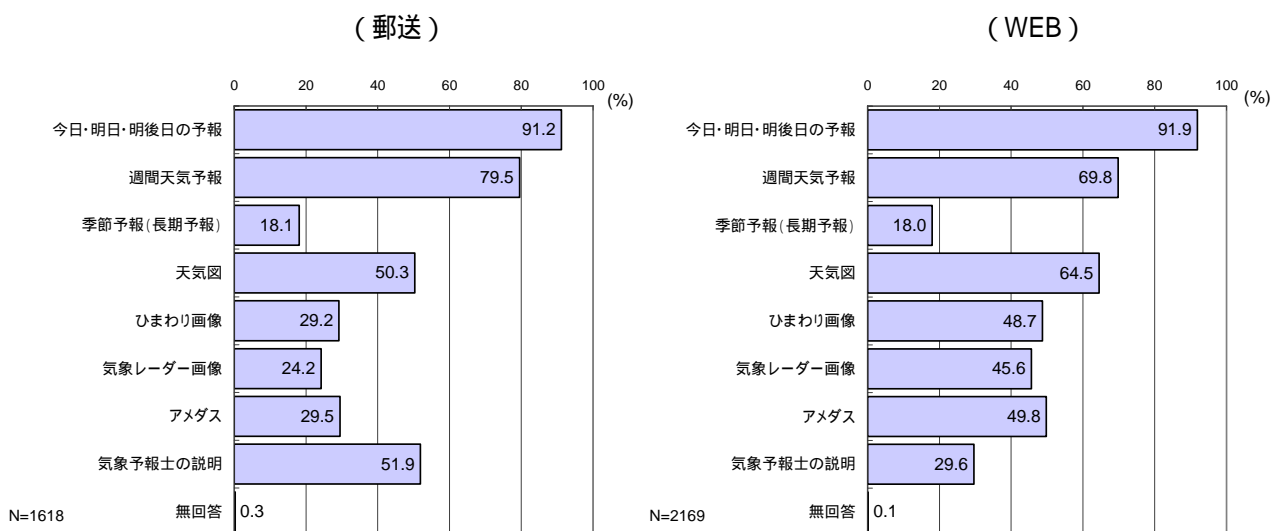
問 1-3. 「天気予報」として思い浮かべた主な情報は、以下のうちどれですか。

【郵送調査】

郵送調査では、91%の人が「今日・明日・明後日の予報」を、次いで80%の人が「週間天気予報」、52%の人が「気象予報士の説明」を挙げた。郵送調査の人は主にテレビ、新聞、ラジオから予報を入手しており（次ページの「入手媒体」を参照）、気象予報士の解説が天気予報のイメージにも少なからず影響を与えている可能性がある。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「今日・明日・明後日の予報」「週間天気予報」を挙げた人が最も多い。なお、郵送調査に比べると、多数の項目を挙げる傾向が見られた。



2. 今日・明日・明後日の天気予報について

(1) 利用率

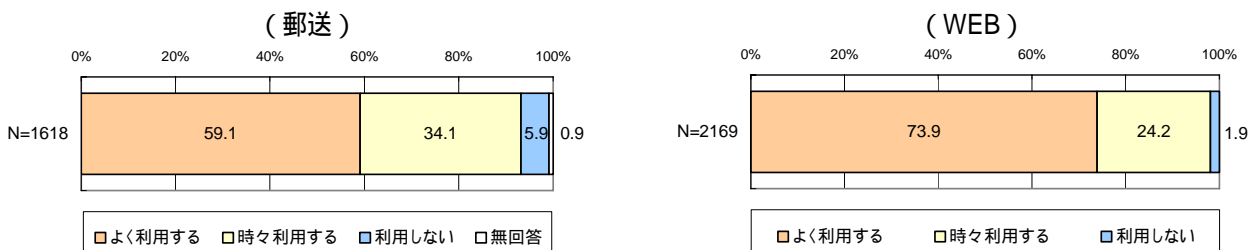
問 2-1. 今日・明日・明後日の天気予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は93%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は59%であった。

【WEB調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は98%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は74%であった。郵送調査に比べて利用率は高い。



(2) 入手媒体（複数回答）

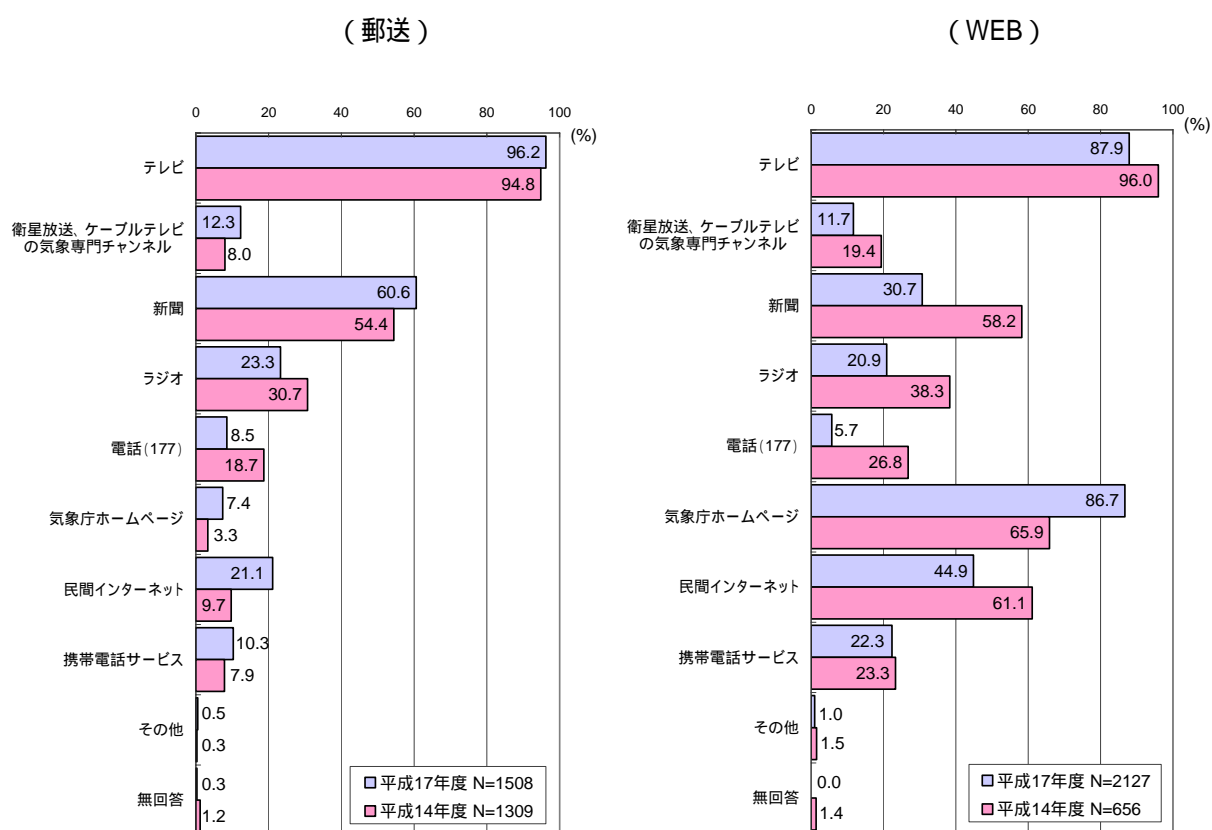
問2-2. 今日・明日・明後日の天気予報を何から見聞きしていますか。

【郵送調査】

96%の人が「テレビ」を、次いで60%の人が「新聞」、23%の人が「ラジオ」を挙げた。前回調査と比較すると、「民間インターネット」の割合が増加した一方、「電話（177）」は減少した。

【WEB調査】

88%の人が「テレビ」を、次いで87%の人が「気象庁ホームページ」を、45%の人が「民間インターネット」を挙げた。前回調査と比較すると「気象庁ホームページ」の割合が増加した一方、「新聞」「ラジオ」「民間インターネット」「電話（177）」は減少した。



(3) 重視度

問 2-3-1 . 今日・明日・明後日の天気予報の各内容について、どの程度重視していますか。

天気(晴、曇、雨など)の予報	最高・最低気温の予報
雨や雪の降る確率(降水確率)の予報	風の強さと向き(風向・風速)の予報
波の高さ(波浪)の予報	

【郵送調査】

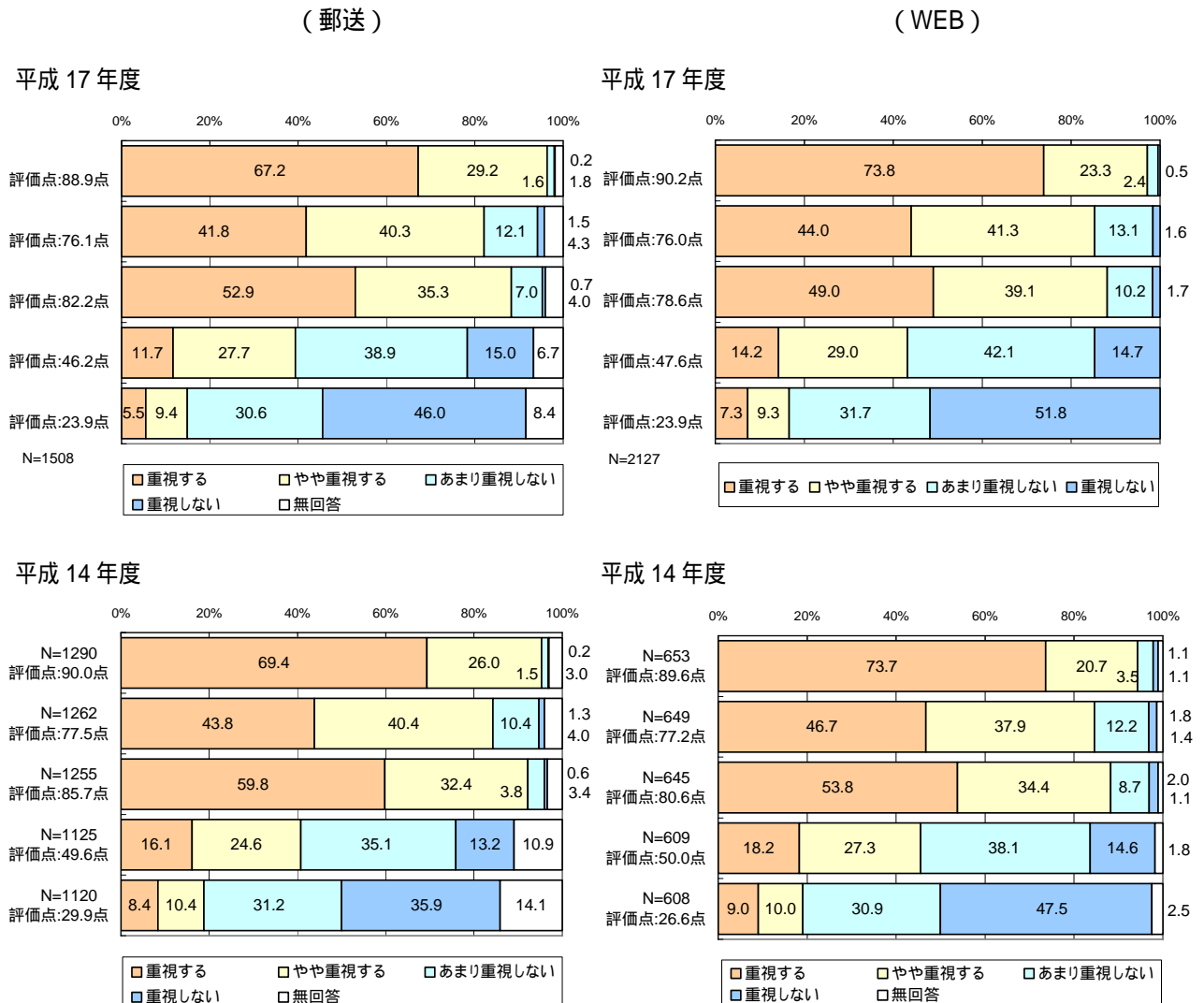
「重視する」「やや重視する」と答えた人の割合が、「天気」で96%、「降水確率」で88%、「最高・最低気温」で82%に達した。これらの評価点は76～89点であり、重視度は高い又は非常に高い。一方、「風向・風速」は39%、「波浪」は15%に止まり、重視している人が限られている。これらの傾向は、前回調査とほぼ同じである。なお、波浪の重視度は都市によって差があり、内陸及び内湾の都市で低い傾向が見られた。

波浪予報の重視度(都市別の評価点)

那覇市(34.0点) 小樽市(33.9点) 新潟市(30.7点) 青森市(28.2点) 豊橋市(20.4点)
 福岡市(21.2点) 千葉市(18.2点) 堺市(17.9点) 熊谷市(13.7点)

【WEB調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。前回調査の傾向ともほぼ同じである。



(4) 満足度

問 2-3-2 . 今日・明日・明後日の天気予報の各内容について、どの程度満足していますか。

天気（晴、曇、雨など）の予報
雨や雪の降る確率（降水確率）の予報
波の高さ（波浪）の予報

最高・最低気温の予報
風の強さと向き（風向・風速）の予報

【郵送調査】

いずれの内容も「まあ満足」と答えた人が最も多く、59～66%に達した。また、評価点も総じて67点を越えており、満足度は高いが、「降水確率」は64点に止まった。

回答者全体と不満層を比較したところ、不満層では男性の割合が若干高い、「技術・技能職」の割合が若干高いなどの特徴が見られた。

【WEB調査】

郵送調査に比べると「不満」「やや不満」と答えた人が多く、評価点は全体的に低い。なお、この傾向は、前回調査とほぼ同じである。

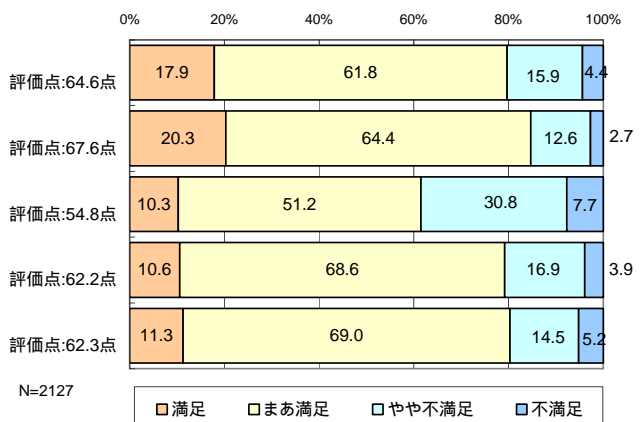
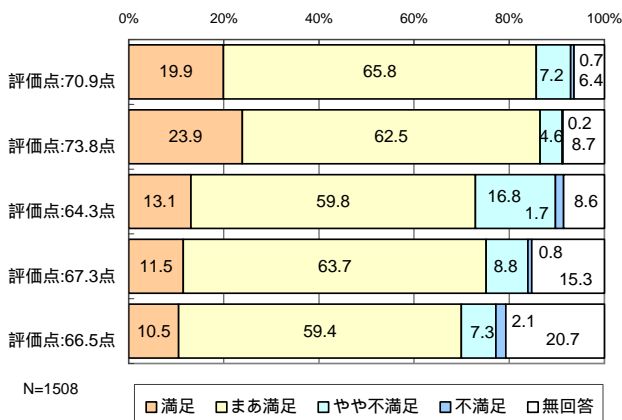
回答者全体と不満層を比較したところ、不満層では男性の割合が若干高い、「農林漁業」の割合が高いなどの傾向が見られたほか、「降水確率」の不満層では「技術・技能職」の割合が高かった。

(郵送)

(WEB)

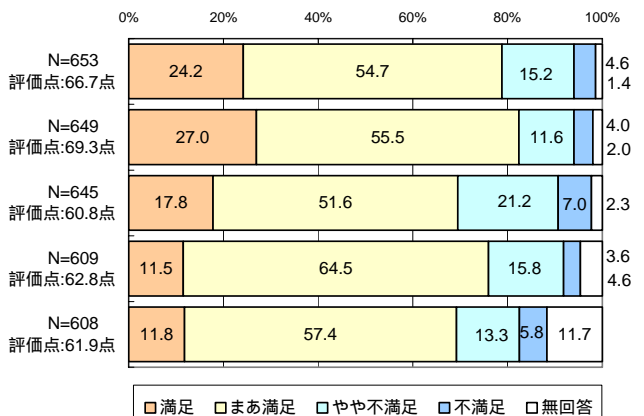
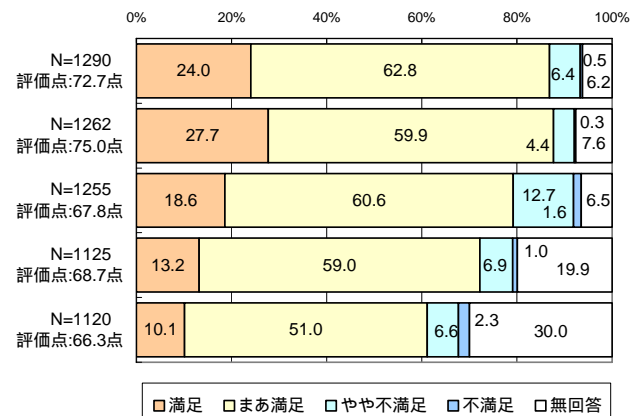
平成 17 年度

平成 17 年度



平成 14 年度

平成 14 年度



(5) 不満に感じること(複数回答)

問 2-4. 今日・明日・明後日の天気予報について不満に感じることはありませんか、あてはまるものすべてを選んでください(利用者全員に質問)

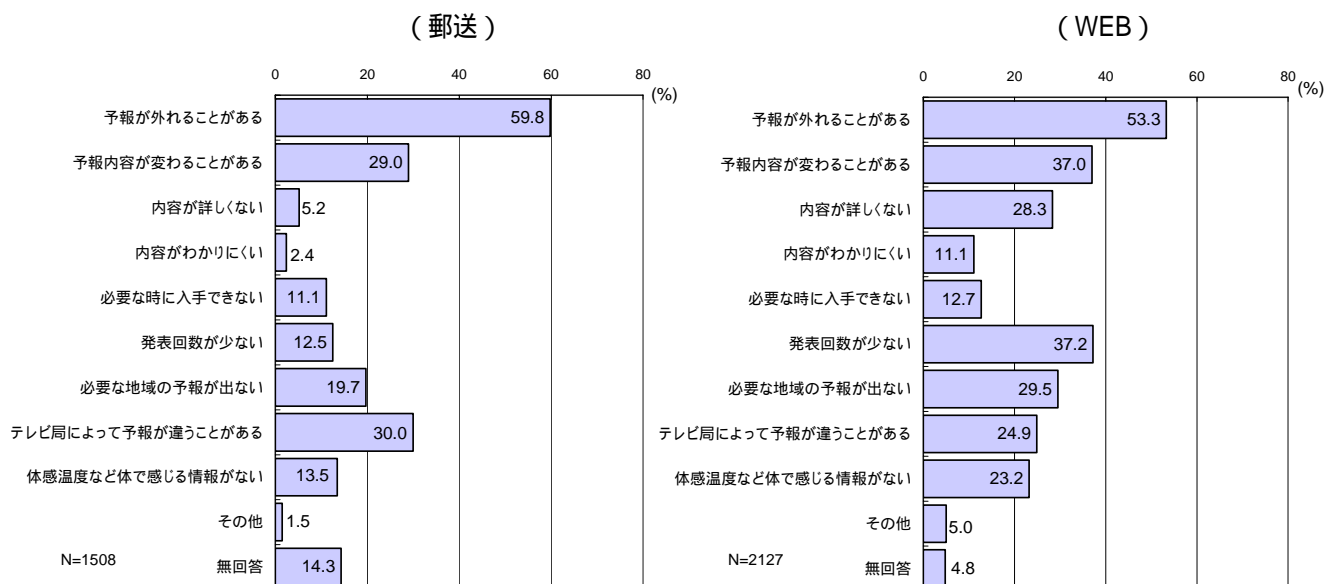
【郵送調査】

利用者全員に対して各予報の不満点を選択肢から選んでもらったところ、60%の人が「予想が外れることがある」を、29%の人が「予報内容が変わることがある」を挙げており、予報精度に不満を感じている。また、回答者全体と不満層を比較したところ、不満層では「予想が外れることがある」「予報内容が変わることがある」を挙げる人の割合が高いことから、満足度を上げるためには予報精度の一層の向上が最も重要である。

なお、「テレビ局によって予報が違うことがある」と答えた人が30%おり、統一的な予報を望む意見も少なからずあることがうかがえる。

【WEB調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」「予報内容が変わることがある」を挙げた人が多い。なお、郵送調査に比べて、「内容が詳しくない」「発表回数が少ない」「必要な地域の予報が出ない」を挙げた人が多く、一層きめ細かい予報、発表時からあまり時間が経っていない予報を求めていることがうかがえる。



(6) 「時々」と「一時」の違いがあることの認知・注目度

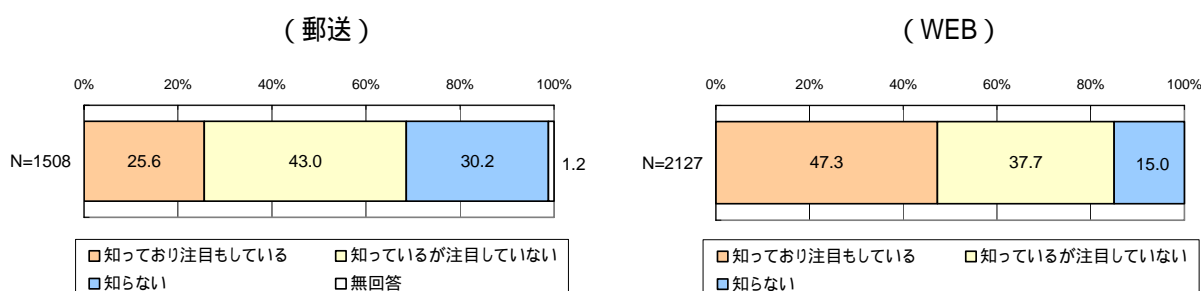
問 2-6 . 気象庁発表の天気予報では、雨の降る時間や降り方の違いから「曇り時々雨」と「曇り一時雨」とに区別して発表していますが、このような違いがあることをご存知ですか。また、この違いに注目していますか。

【郵送調査】

69%の人が知ってはいるが、注目している人は26%に止まった。

【WEB 調査】

85%の人が知っており、注目している人は47%であった。郵送調査に比べて認知率、注目度ともに高い。



(6-1) 「時々」と「一時」の違いを注目しない理由

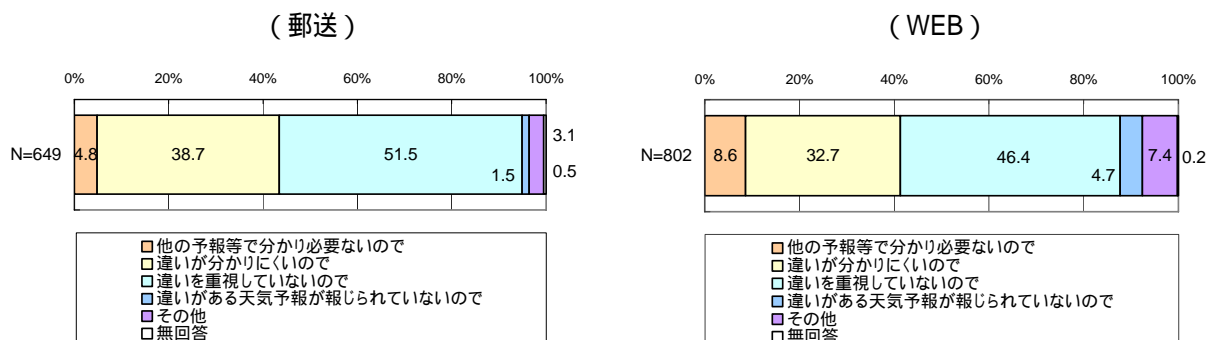
付問 2-6 . 注目しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「違いを重視していないので」と答えた人が一番多く、52%を占めた。次いで、「違いが分かりにくいので」が39%であった。

【WEB 調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。



(7) 主要地域と一部地域での2段構成発表の認知・注目度

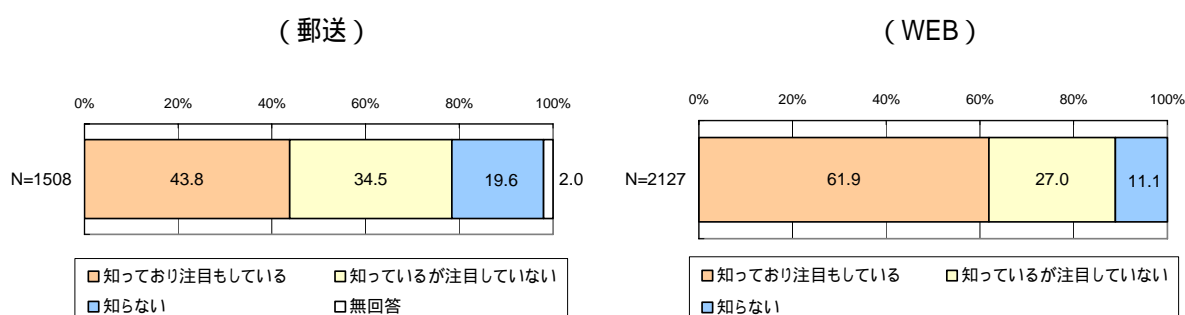
問 2-7. 気象庁発表の天気予報では、例えば「曇り時々晴れ、山間部では一時雨」のように、対象地域全体をおおまかに見た場合の主要な天気と、一部地域で現れる天気との2段構成にすることがありますが、このことをご存知ですか。また、一部地域の天気予報が自分のところに該当するかどうか注目していますか。

【郵送調査】

78%の人が知っており、注目している人は44%であった。

【WEB調査】

89%の人が知っており、注目している人は62%であった。郵送調査に比べると認知率は同程度だが、注目度は高い。



(7-1) 主要地域と一部地域での2段構成発表を注目しない理由

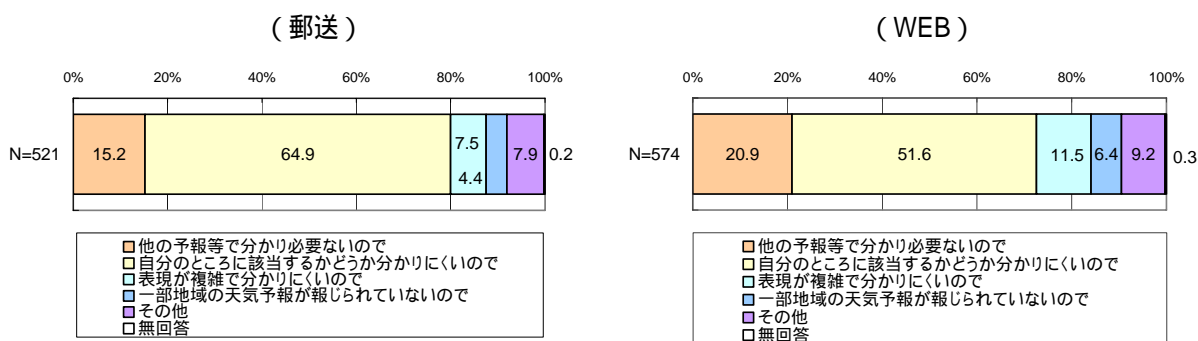
付問 2-7. 注目しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「自分のところに該当するかどうか分かりにくいので」と答えた人が最も多く、65%を占めた。次いで、「他の予報等で分かり必要ないので」が15%であった。

【WEB調査】

「自分のところに該当するかどうか分かりにくいので」と答えた人が最も多く、52%を占めた。次いで、「他の予報等で分かり必要ないので」が21%であった。



(8) 「所により」の表現があることの認知・注目度

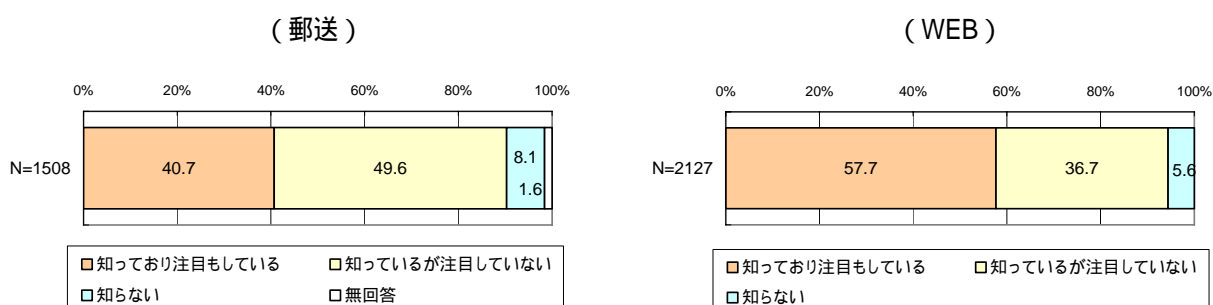
問 2-8 . 気象庁発表の天気予報では、例えば「晴れ 所により雨」のように、一部ではあるが複数の地域で主要な天気とは異なる天気が予想される場合に「所により」の表現を用いますが、この表現があることをご存知ですか。また、この表現での天気予報が自分のところに該当するかどうか注目していますか。

【郵送調査】

90%の人が知っているが、注目している人は41%に止まった。

【WEB 調査】

94%の人が知っており、注目している人は58%であった。郵送調査に比べると認知率は同程度だが、注目度は高い。



(8-1) 「所により」の表現を注目しない理由

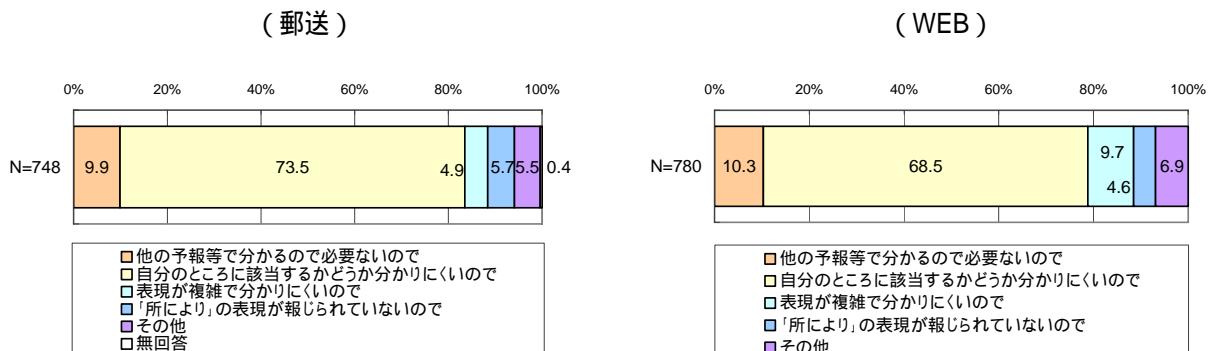
付問 2-8 . 注目しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「自分のところに該当するかどうか分かりにくいので」が最も多く、74%を占めた。

【WEB 調査】

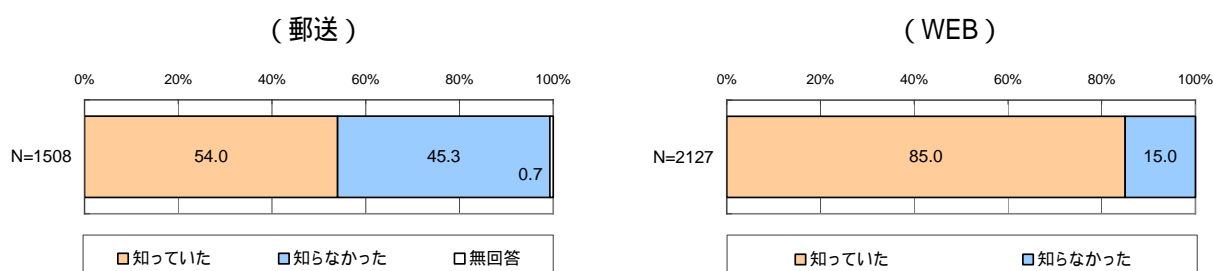
郵送調査と同様の傾向が見られた。



(9) 放送局や新聞による予報の相違の認知率

問 2-9 . テレビや新聞、インターネットなどでは、気象庁（気象台）の他に民間の気象会社が独自に発表した天気予報も提供されています。このため、放送局や新聞によって同じ場所の予報でも違った予想天気や予想気温が放送（掲載）されることがあります。あなたは、このことを知っていましたか。

郵送調査では、「知っていた」が 54%に止まった。一方、WEB 調査では「知っていた」が 85%を占め、認知率は高い。



(10) 予報を発表した気象会社名通知の希望

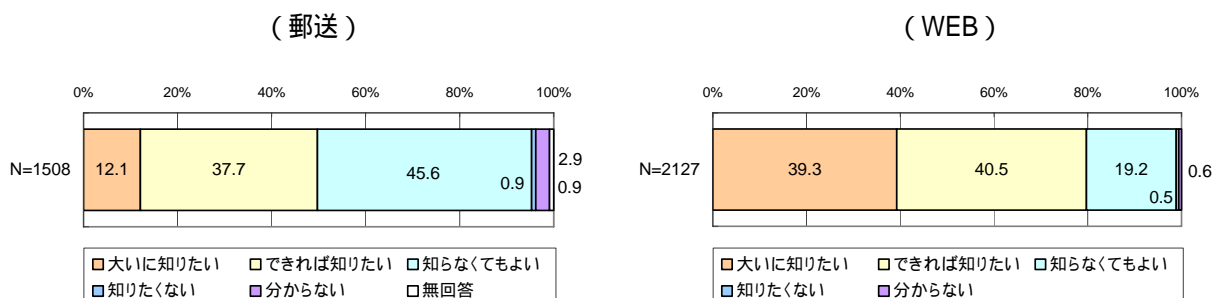
問 2-10 あなたは、今後、天気予報を利用する際に、その天気予報を発表した気象会社名（又は気象台）を知りたいと思いますか。

【郵送調査】

「大いに知りたい」「できれば知りたい」と答えた人の割合は 50%であった。一方、「知りたくない」と答えた人は 1%であった。

【WEB 調査】

「大いに知りたい」「できれば知りたい」と答えた人の割合は 80%に達した。郵送調査に比べると、気象会社名（又は気象台）を知りたいという傾向が強い。



3. 時系列予報について

(1) 利用率

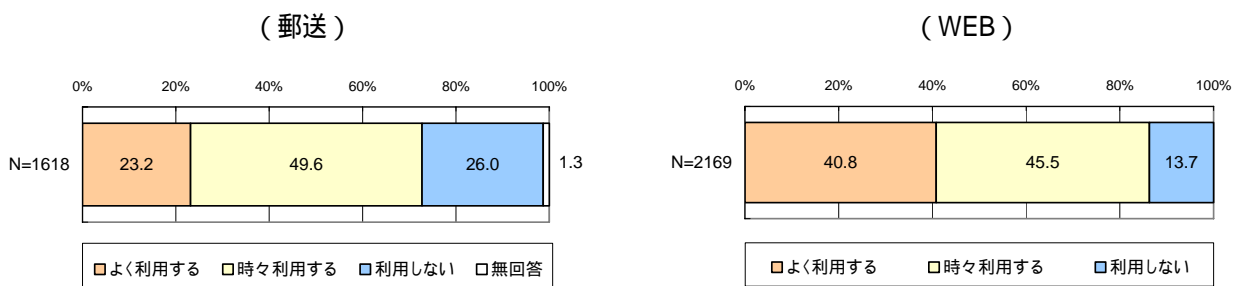
問 3-1. 時系列予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は73%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は23%であった。

【WEB 調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は86%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は41%であった。郵送調査に比べると利用率は高い。



(1-1) 利用しない理由

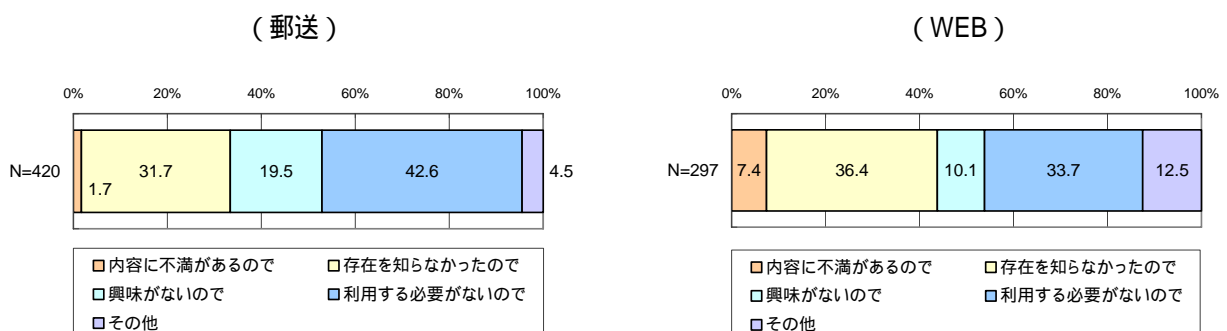
付問 3-1. 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がないので」と答えた人が最も多く、43%を占めた。次いで、「存在を知らなかったのが」32%、「興味がないので」が20%であった。

【WEB 調査】

「存在を知らなかったのが」と答えた人が最も多く、36%を占めた。次いで、「利用する必要がないので」が34%、「興味がないので」が10%であった。



(2) 入手媒体 (複数回答)

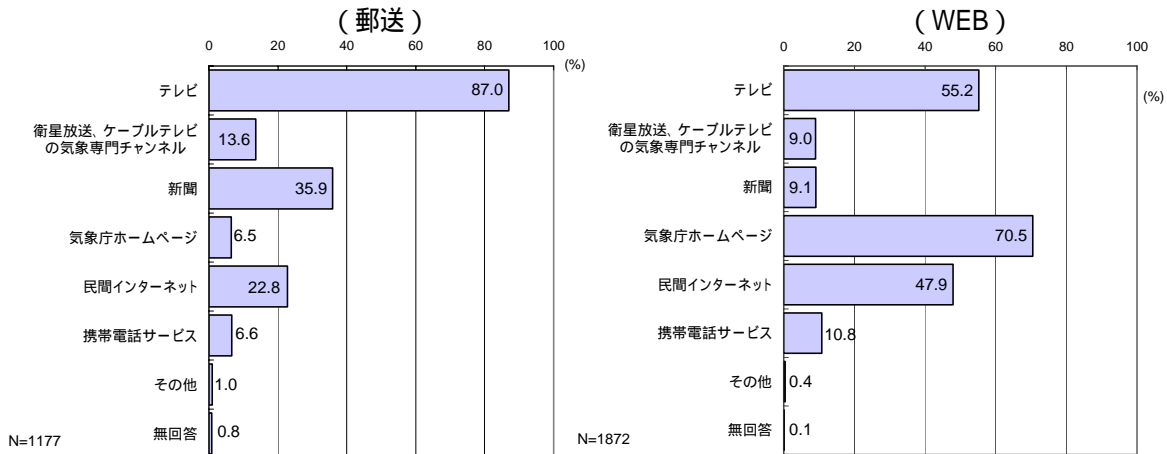
問 3-2 . 時系列予報を何から見聞きしていますか。利用する媒体をすべて選んでください。

【郵送調査】

87%の人が「テレビ」を、次いで36%の人が「新聞」、23%の人が「民間インターネット」を挙げた。

【WEB 調査】

郵送調査に比べると、「気象庁ホームページ」「民間インターネット」から入手する人が圧倒的に多い一方、「テレビ」の割合が下がっている。



(3) 重視度

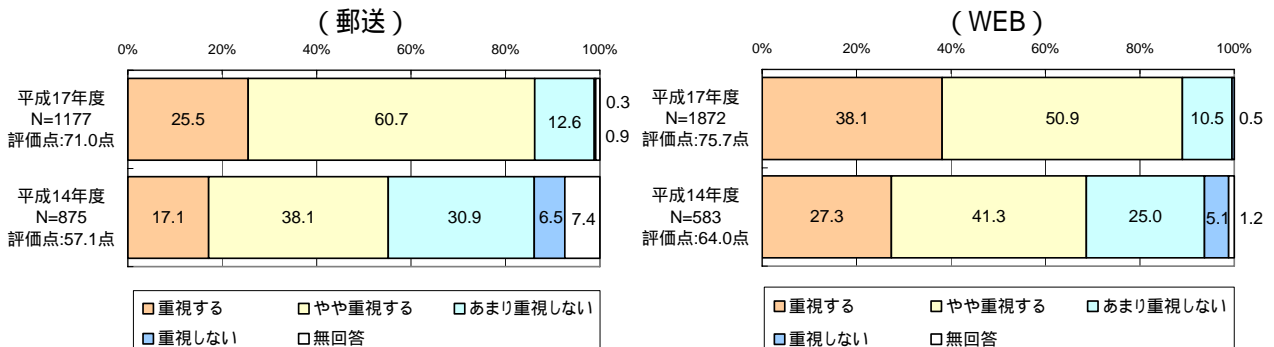
問 3-3 . 時系列予報をどの程度重視していますか。

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」と答えた人の割合は86%であった。このうち、「重視する」と答えた人は26%であった。評価点も71点と高い。また、前回調査に比べて評価点は10点以上上昇した。平成16年12月から発表時間を1時間繰り上げたことなどから、時系列予報がテレビやインターネットをはじめ様々な媒体で提供されるようになり、広く普及したことなどが影響しているのではないかと考えられる。

【WEB 調査】

「重視する」「やや重視する」と答えた人は89%、評価点も76点であり、郵送調査に比べて重視度は高い。



(4) 満足度

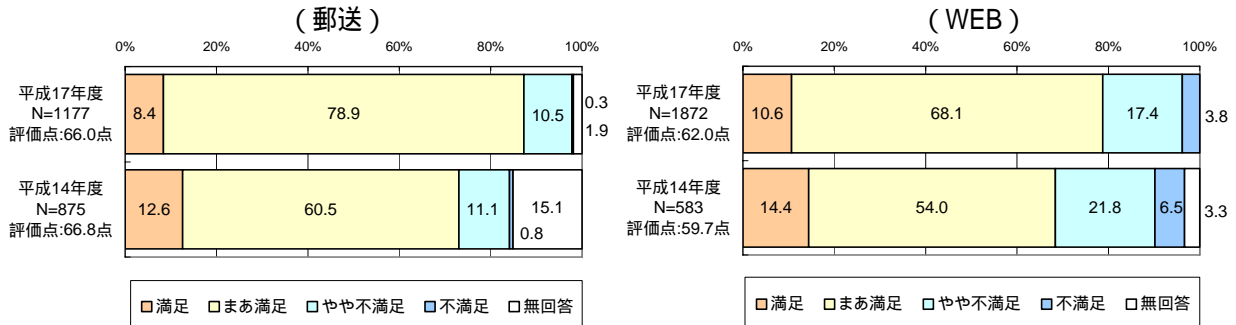
問 3-4 . 時系列予報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」と答えた人の割合は 87%に達したが、「まあ満足」と答えた人が 79%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。このため、評価点は 66 点に止まった。

【WEB 調査】

郵送調査に比べると不満層が多く、評価点は 62 点に止まった。



(5) 不満に感じること (複数回答)

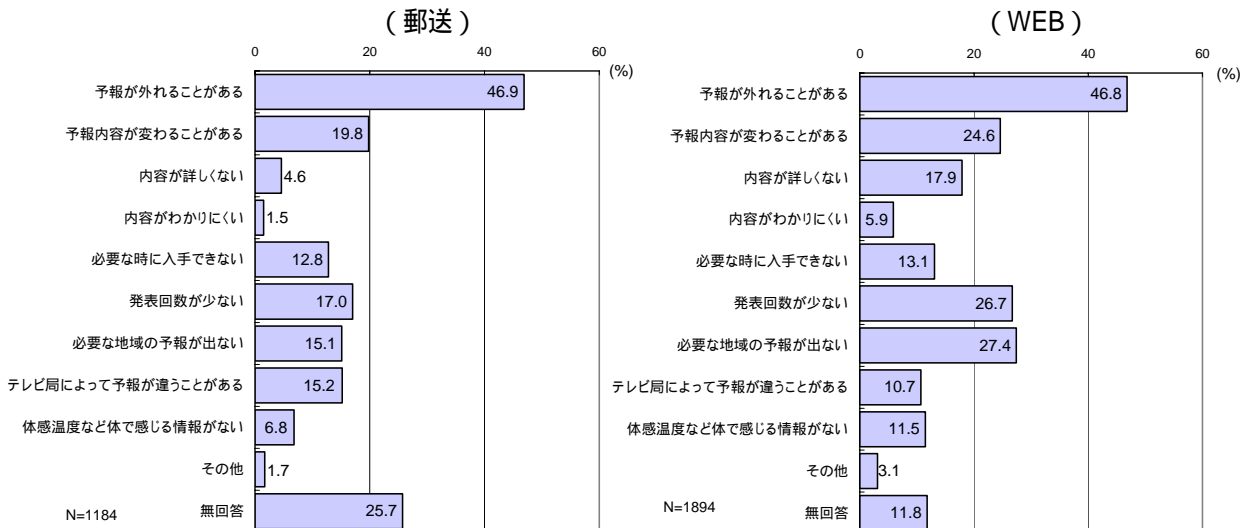
問 3-5 . 時系列予報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

【郵送調査】

利用者全員に対して各予報の不満点を選択肢から選んでもらったところ、「予想が外れることがある」と答えた人が 47%と最も多く、予報精度に不満を感じている。

【WEB 調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」と答えた人が 47%と最も多い。なお、郵送調査に比べて、「内容が詳しくない」「発表回数が少ない」「必要な地域の予報が出ない」を挙げた人が多く、一層きめ細かい予報、発表時からあまり時間が経っていない予報を求めていることがうかがえる。



4 . 天気分布予報について

(1) 利用率

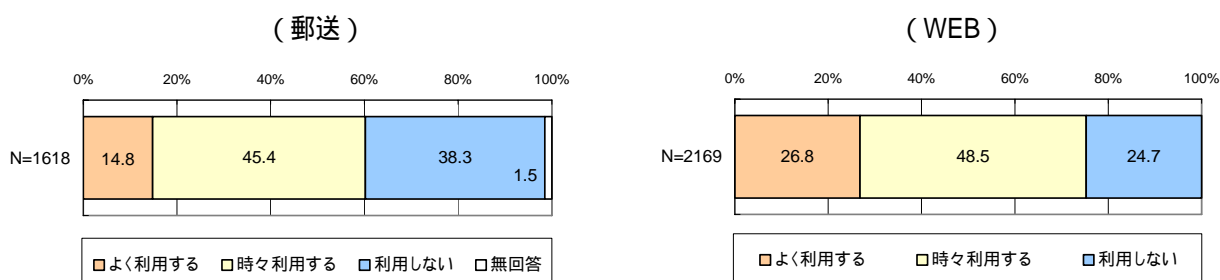
問 4-1 . 天気分布予報をどの程度利用していますか。あてはまるものを 1 つ選んで番号に 印をつけてください。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は 60%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は 15%であった。

【WEB 調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は 75%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は 27%であった。郵送調査に比べると利用率は高い。



(1-1) 利用しない理由

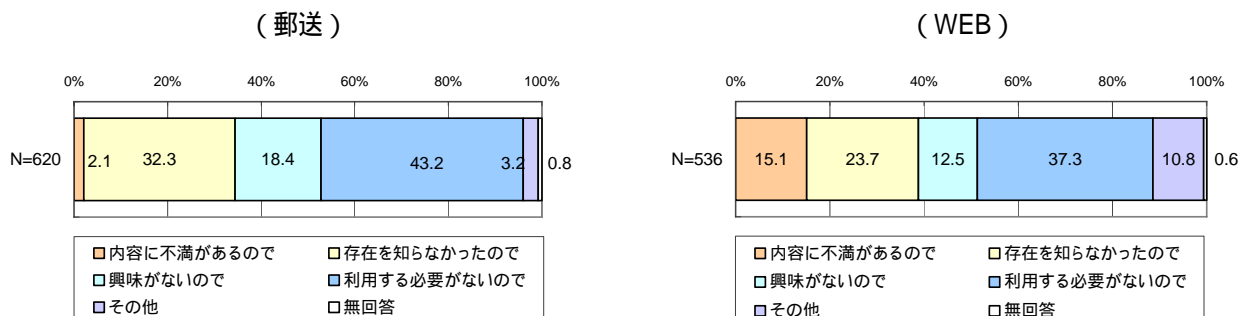
付問 4-1 . 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要があるのでは」と答えた人が最も多く、43%を占めた。次いで、「存在を知らなかったのでは」が 32%、「興味が無いのでは」が 18%であった。

【WEB 調査】

「利用する必要があるのでは」と答えた人が最も多く、37%を占めた。次いで、「存在を知らなかったのでは」が 24%であった。郵送調査に比べて「内容に不満があるので」が 15%と多い。



(2) 入手媒体（複数回答）

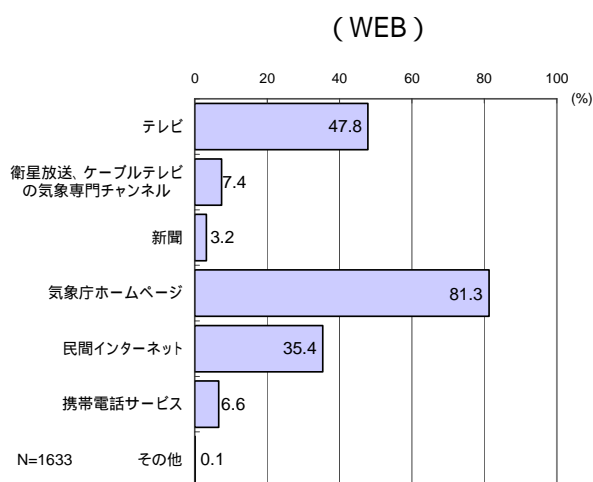
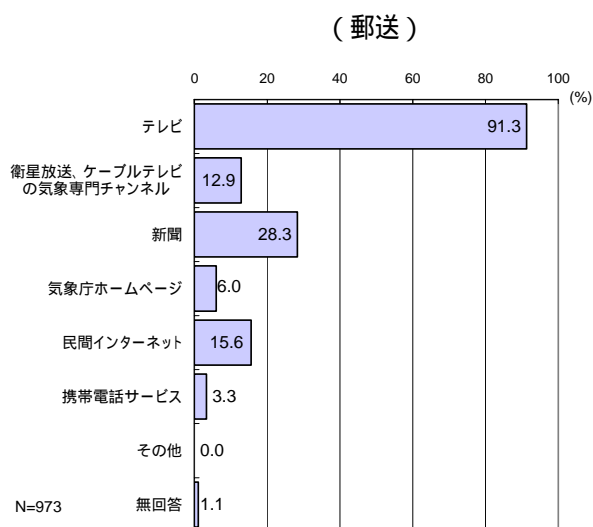
問 4-2 . 天気分布予報を何から見聞きしていますか。

【郵送調査】

91%の人が「テレビ」を、次いで28%の人が「新聞」、16%の人が「民間インターネット」を挙げた。

【WEB調査】

郵送調査に比べると、「気象庁ホームページ」「民間インターネット」から入手する人が圧倒的に多い一方、「テレビ」の割合が下がっている。



(3) 重視度

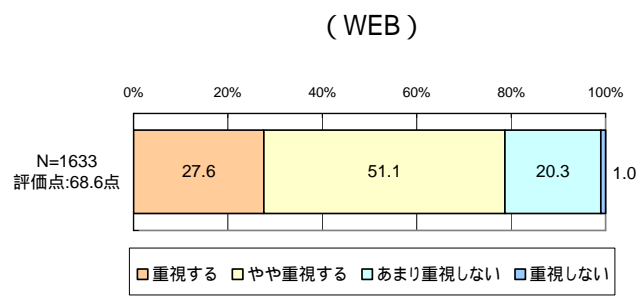
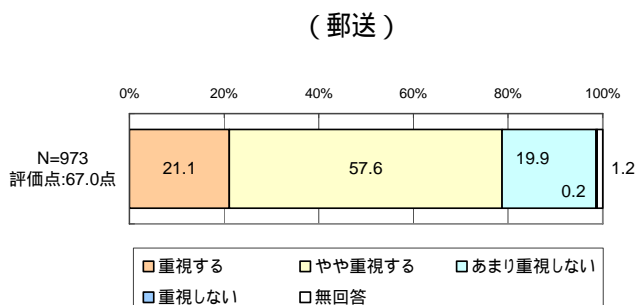
問 4-3 . 天気分布予報をどの程度重視していますか。

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」と答えた人の割合は79%であったが、「重視する」と答えた人は21%であり、評価点は67点に止まった。

【WEB調査】

郵送調査とほぼ同様の傾向が見られた。



(4) 満足度

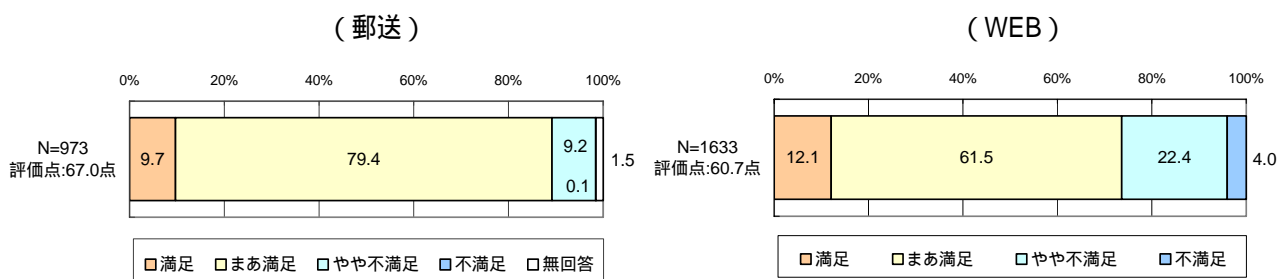
問 4-4 . 天気分布予報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」の合計は 89%に達したが、「まあ満足」と答えた人が 79%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。評価点は 67 点であり、満足度は高い。

【WEB 調査】

「満足」「まあ満足」の合計は 74%に達したが、「まあ満足」と答えた人が 62%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。不満層も 26%あり、評価点は 61 点に止まった。



(5) 不満に感じること（複数回答）

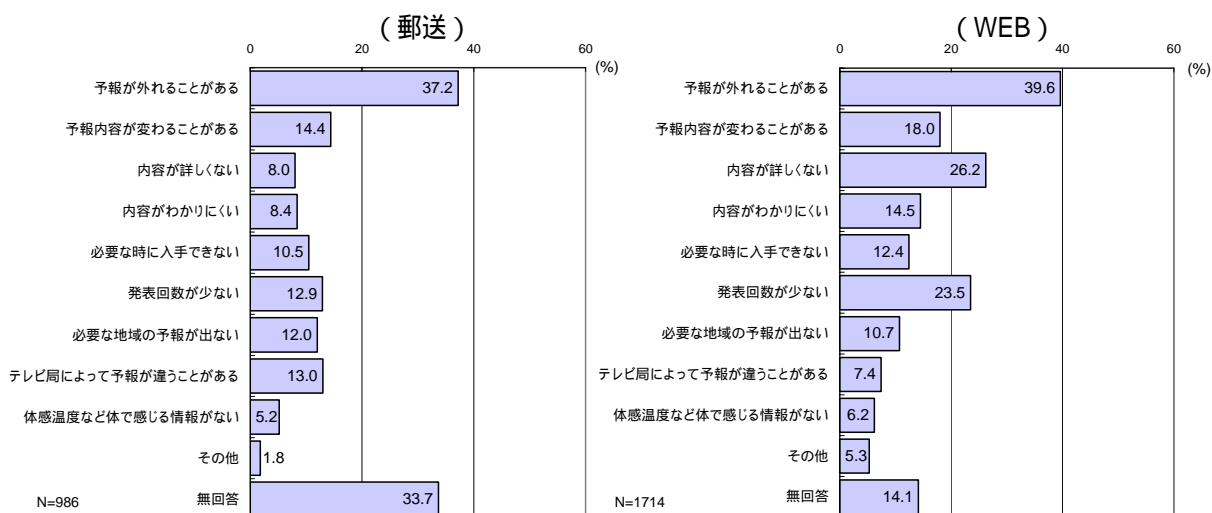
問 4-5 . 天気分布予報について不満に感じるがありましたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

【郵送調査】

利用者全員に対して各予報の不満点を選択肢から選んでもらったところ、「予想が外れることがある」と答えた人が 37%と最も多く、予報精度に不満を感じている。

【WEB 調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」が 40%と最も多い。なお、郵送調査に比べて「内容が詳しくない」「発表回数が少ない」を挙げた人が多く、一層きめ細かい予報、発表時からあまり時間が経っていない予報を求めていることがうかがえる。



5 . 週間天気予報について

(1) 利用率

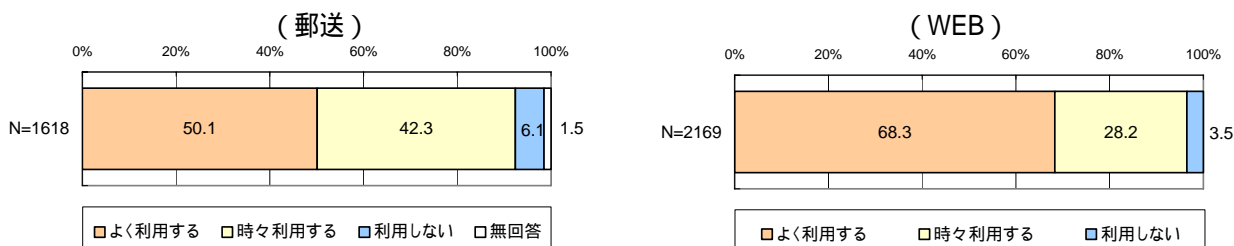
問 5-1 . 週間天気予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は 92%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は 50%であった。

【WEB 調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は 97%であった。このうち「よく利用する」と答えた人は 68%であった。郵送調査に比べると利用率は高い。



(2) 入手媒体 (複数回答)

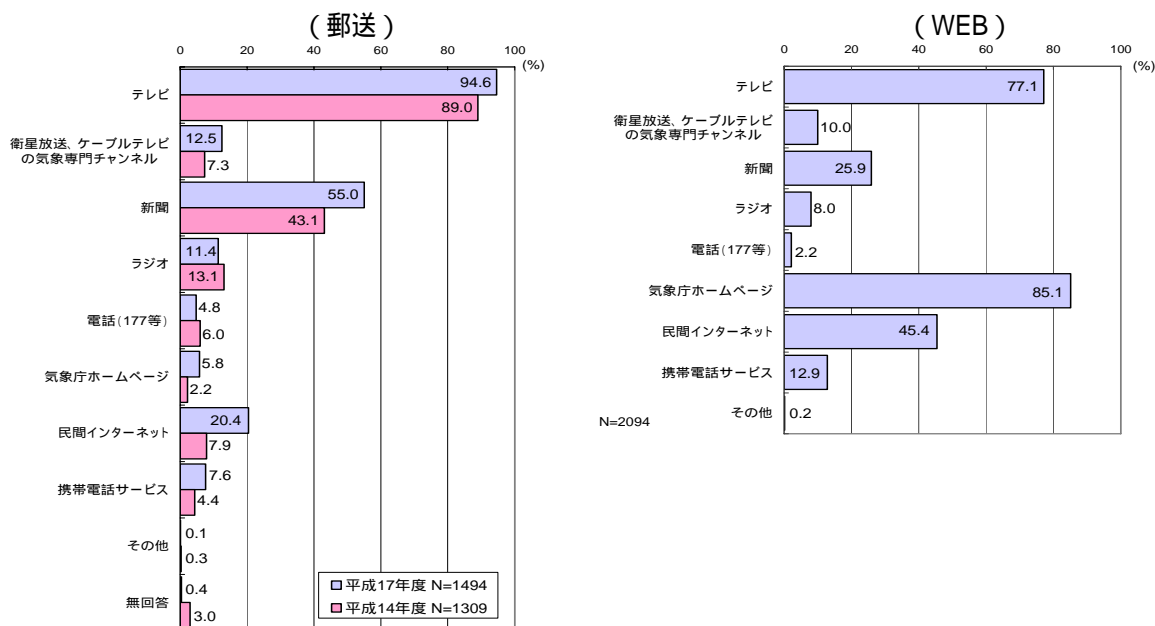
問 5-2 . 週間天気予報を何から見聞きしていますか。

【郵送調査】

95%の人が「テレビ」を、次いで 55%の人が「新聞」、20%の人が「民間インターネット」を挙げた。前回調査と比較すると、3位が「ラジオ」から「民間インターネット」に入れ替わった。

【WEB 調査】

郵送調査に比べると、「気象庁ホームページ」「民間インターネット」から入手する人が圧倒的に多い。「テレビ」も 77%とよく使われている。



(3) 重視度

問 5-3-1 . 週間天気予報の各内容について、どの程度重視していますか。

天気(晴、曇、雨など)の予報	最高・最低気温の予報
雨や雪の降る確率(降水確率)の予報	予報の確度(信頼度)情報

【郵送調査】

「重視する」「やや重視する」と答えた人の割合が「天気」で94%、「降水確率」で85%、「最高・最低気温」で79%に達した。これらの評価点は72~85点であり、重視度は高い又は非常に高い。この傾向は前回調査とほぼ同じである。

一方、「信頼度情報」では、「重視する」「やや重視する」と答えた人の割合が50%、評価点は54点に止まり、重視している人が限られている。また、信頼度情報の評価点は、前回調査から16点減少した。この原因としては、前回調査では信頼度情報の発表開始から1年半と日が浅かったほか、アンケートに情報例を示さなかったため、多くの人が信頼度情報についてイメージできないまま回答してしまったことなどが考えられる。

【WEB調査】

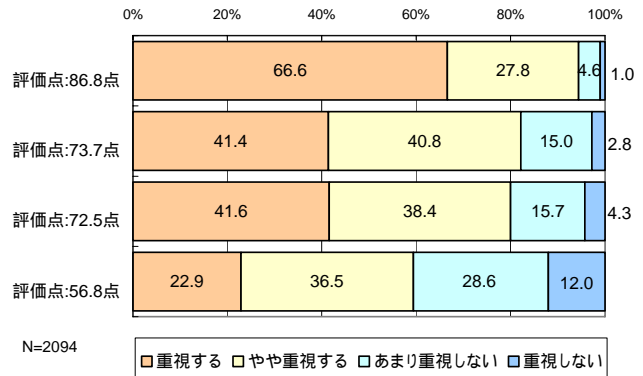
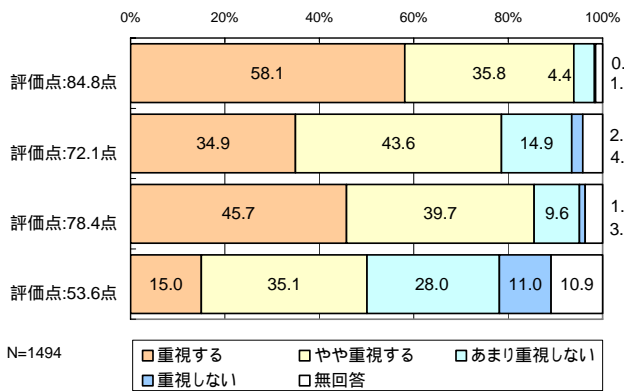
郵送調査とほぼ同様の傾向が見られるが、「降水確率」の評価点が73点と若干低い。

(郵送)

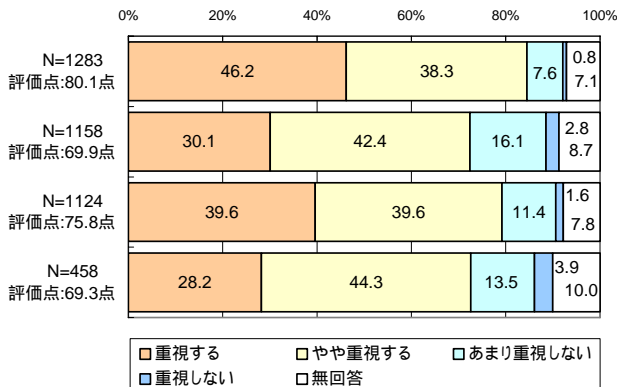
(WEB)

平成 17 年度

平成 17 年度



平成 14 年度



(4) 満足度

問 5-3-2 . 週間天気予報の各内容について、どの程度満足していますか。

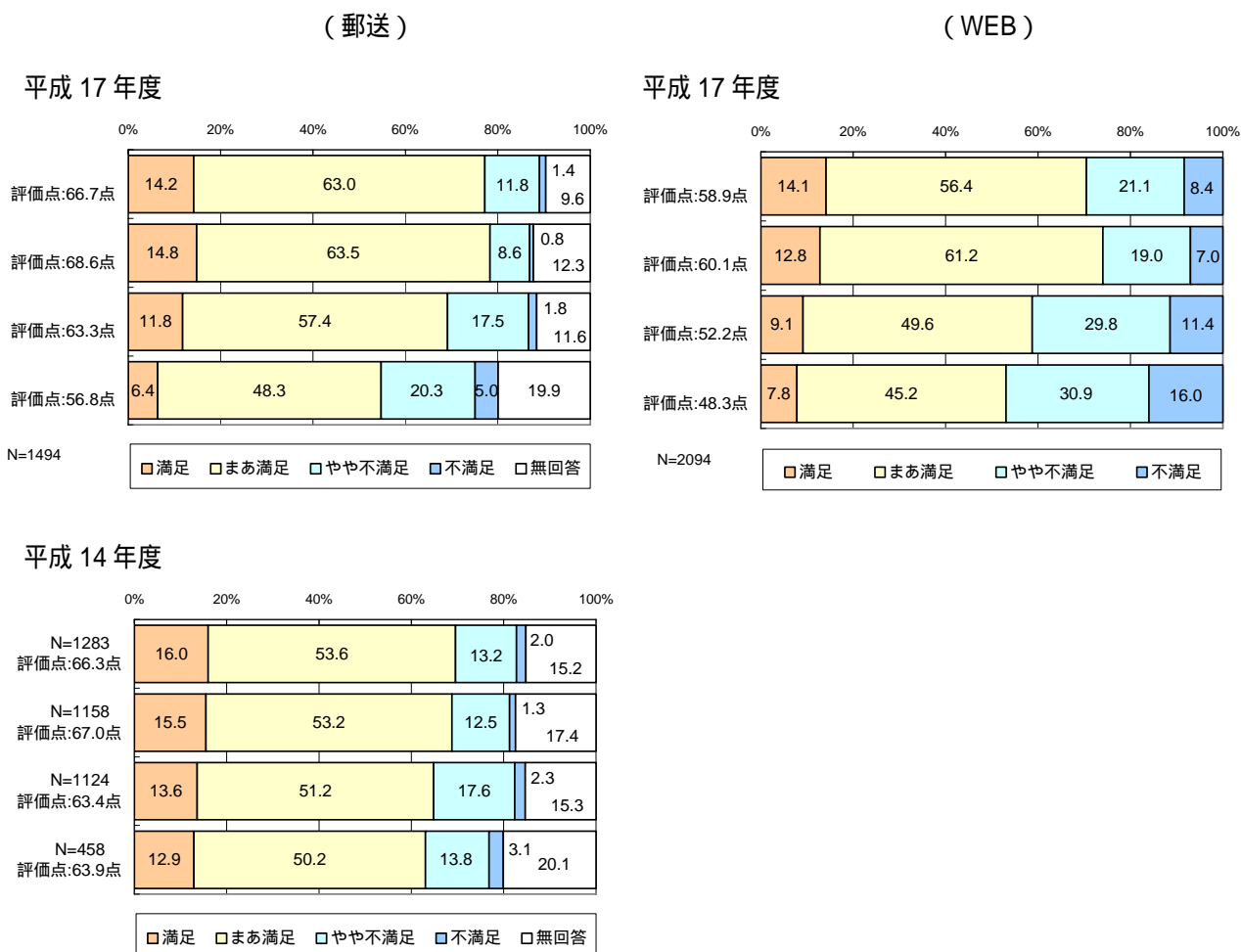
天気(晴、曇、雨など)の予報	最高・最低気温の予報
雨や雪の降る確率(降水確率)の予報	予報の確度(信頼度)情報

【郵送調査】

いずれの内容も「まあ満足」と答えた人が 48～64%を占め、最も多い。評価点では、「天気」が 67 点、「最高・最低気温」が 69 点と満足度は高いが、「降水確率」は 63 点、「信頼度情報」は 57 点に止まった。また、信頼度情報の評価点は前回調査に比べて 7 点低下した。

【WEB 調査】

郵送調査同様、全ての項目で「まあ満足」が最も多いが、郵送調査に比べると不満層の割合が多くなっており、評価点は低い。



(5) 不満に感じること(複数回答)

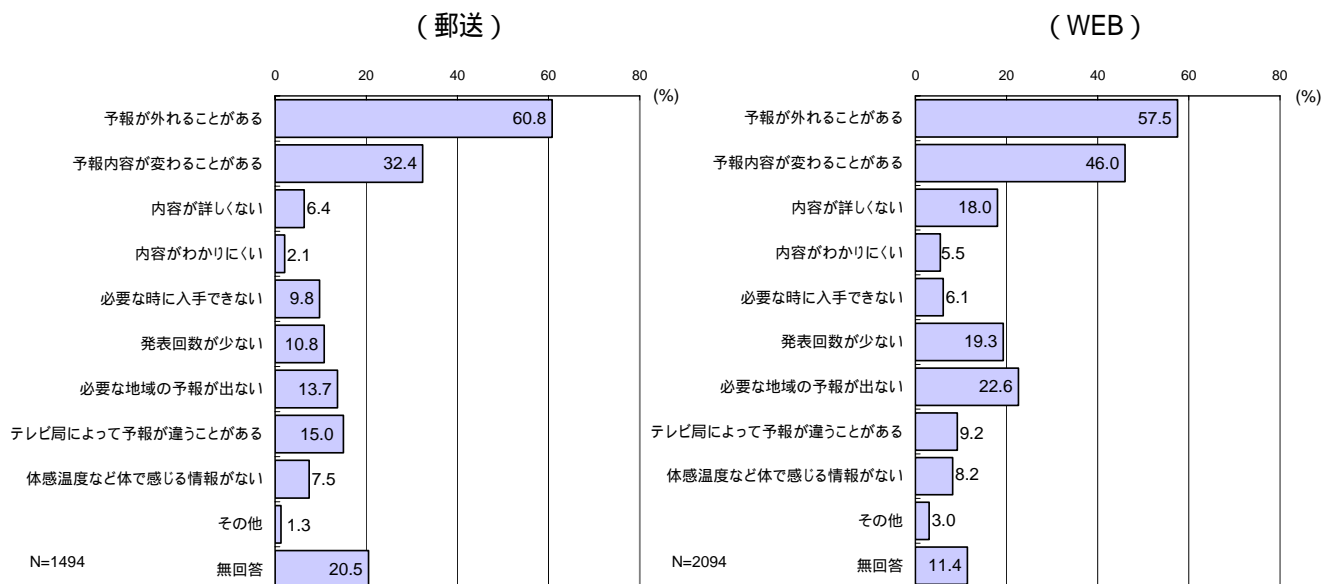
問 5-4 . 週間天気予報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

【郵送調査】

61%の人が「予想が外れることがある」を、32%の人が「予報内容が変わることがある」を挙げており、予報精度に不満を感じている。

【WEB 調査】

郵送調査と同様、「予想が外れることがある」「予報内容が変わることがある」を挙げた人が多い。なお、郵送調査に比べて、「内容が詳しくない」「発表回数が少ない」「必要な地域の予報が出ない」を挙げた人が多く、一層きめ細かい予報、発表時からあまり時間が経っていない予報を求めていることがうかがえる。



6. 季節予報について

(1) 利用率

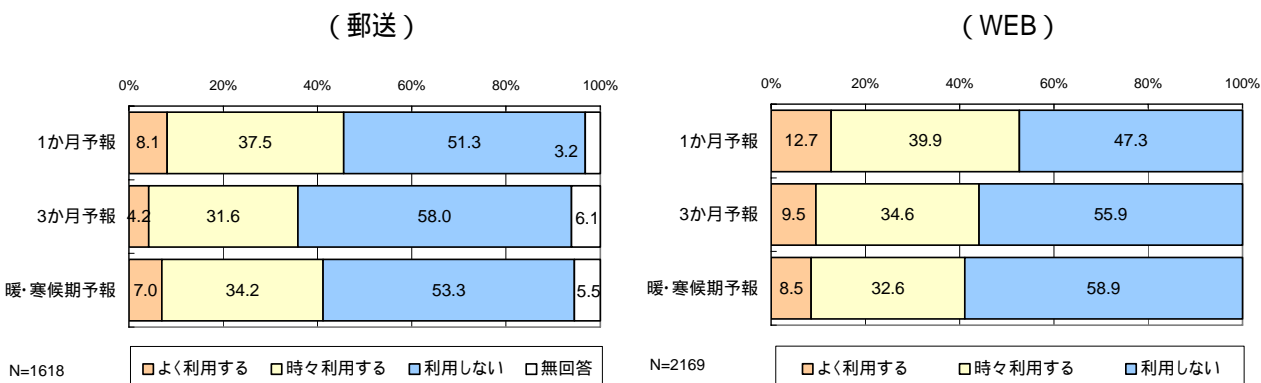
問 6-1. 季節予報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は、36～46%と半数に満たなかった。

【WEB 調査】

「時々利用する」「よく利用する」と答えた人の割合は、「1か月予報」では53%と過半数となったものの、「3か月予報」では44%、「暖・寒候期予報」では41%と、半数に満たなかった。



(1-1) 利用しない理由

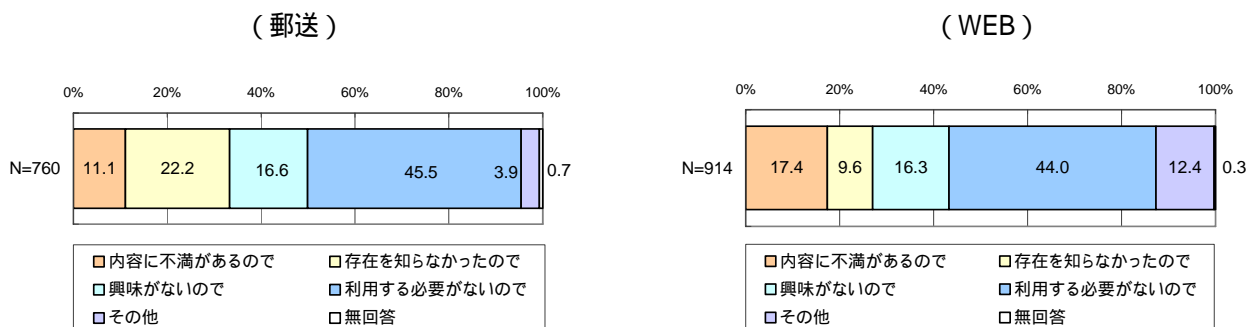
付問 6-1. 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がないので」と答えた人が46%と最も多かった。次いで、「存在を知らなかったの」が22%、「興味がないので」が17%であった。「内容に不満があるので」は11%であった。

【WEB 調査】

「利用する必要がないので」と答えた人が44%と最も多かった。郵送調査に比べると「存在を知らなかったの」10%と少なく、「内容に不満があるので」が17%と多い。



(2) 入手媒体（複数回答）

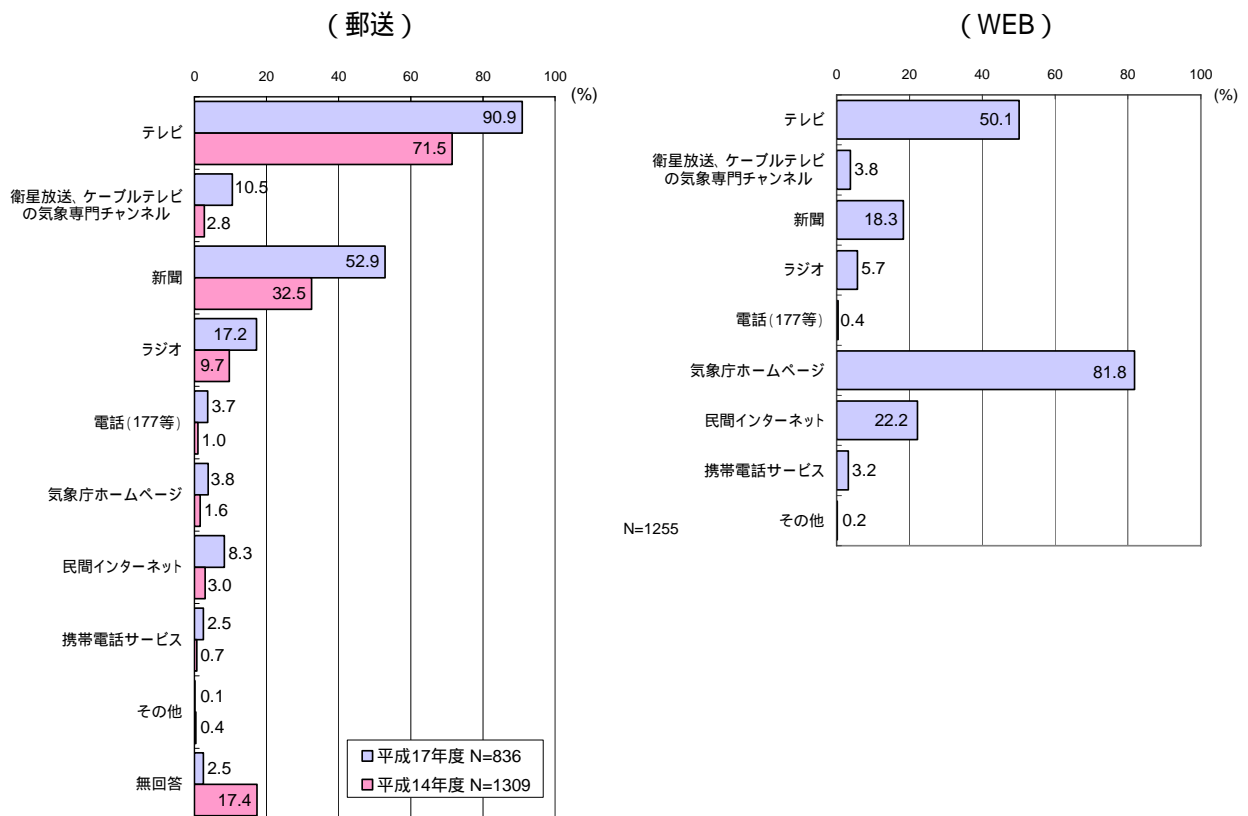
問 6-2 . 季節予報を何から見聞きしていますか。

【郵送調査】

91%の人が「テレビ」を、次いで53%の人が「新聞」、17%の人が「ラジオ」を挙げた。この順番は、前回調査と変わらない。

【WEB調査】

郵送調査に比べると、「気象庁ホームページ」「民間インターネット」から入手する人が圧倒的に多い一方、「テレビ」「新聞」「ラジオ」の割合が下がっている。



(3) 満足度

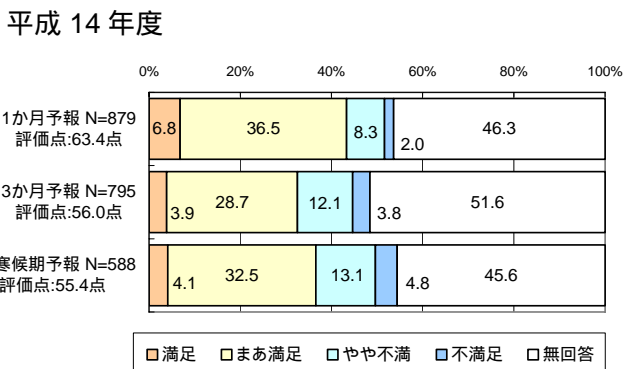
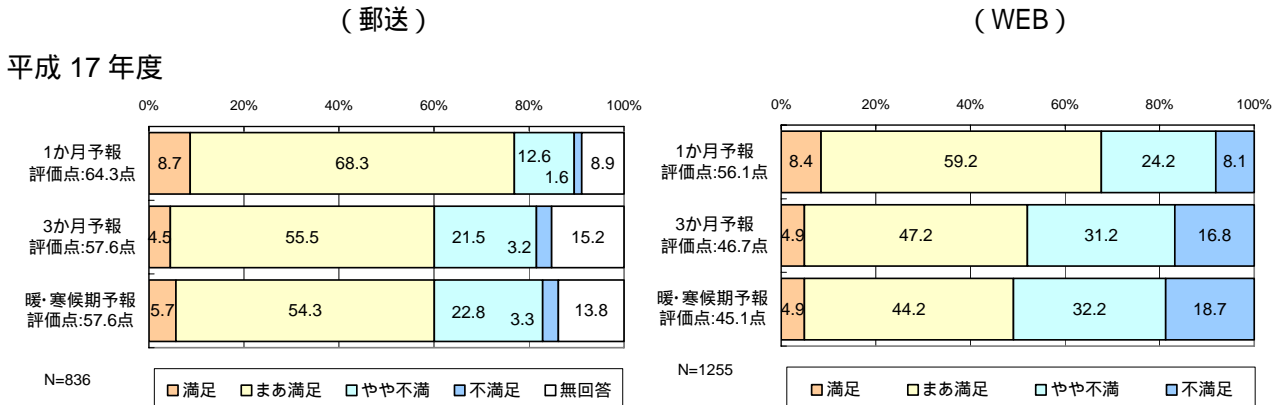
問 6-3 . 季節予報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

いずれの内容も「まあ満足」と答えた人が 54～68%を占め最も多いが、不満層の割合も多く、評価点は 58～64 点に止まった。3 種類の季節予報の中では、「1 か月予報」の評価点が 64 点と最も高い。

【WEB 調査】

郵送調査に比べると不満層の割合が多く、評価点が低い。特に「3 か月予報」は 47 点、「暖・寒候期予報」は 45 点と 50 点を割り込み、不満足度の方が高い。



(4) 不満に感じること(複数回答)

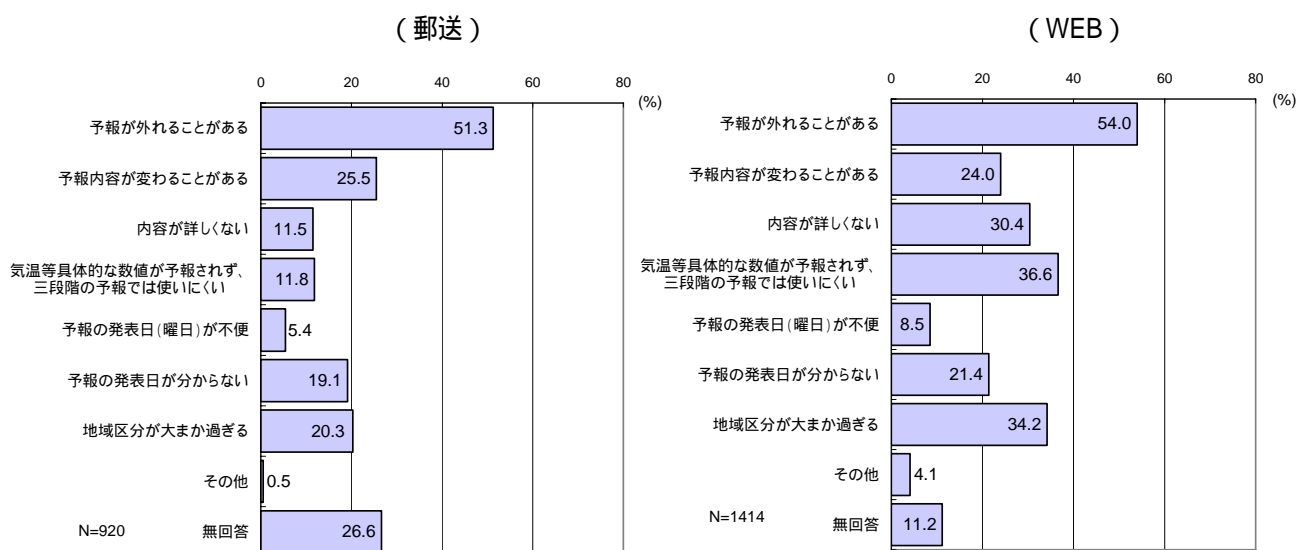
問 6-4 . 季節予報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

【郵送調査】

「予想が外れることがある」と答えた人が51%と最も多く、次いで「予報内容が変わることがある」と答えた人が26%であり、予報精度に不満を感じている。「地域区分が大まか過ぎる」「予報の発表日が分からない」も20%程度あった。

【WEB 調査】

郵送調査同様、「予想が外れることがある」が54%と最も多かった。なお、「気温など具体的な数値が予報されず、三段階の予報では使いにくい」と答えた人が37%おり、表現方法への不満も多いことがうかがえる。

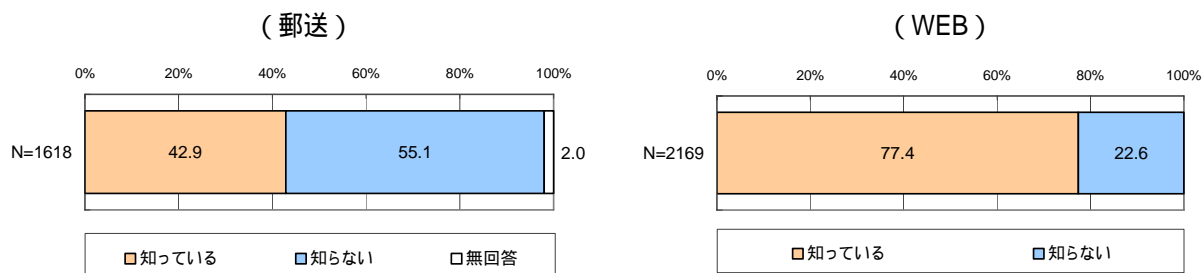


7. 黄砂情報について

(1) 認知率

問 7-1. 気象庁ホームページで黄砂情報を発表していることをご存知ですか。

郵送調査では、「知っている」と答えた人が43%と半数に満たなかった。一方、WEB調査では、「知っている」と答えた人は77%であり、認知率は高い。



(2) 利用率

問 7-2. 黄砂情報をどの程度利用していますか。

【郵送調査】

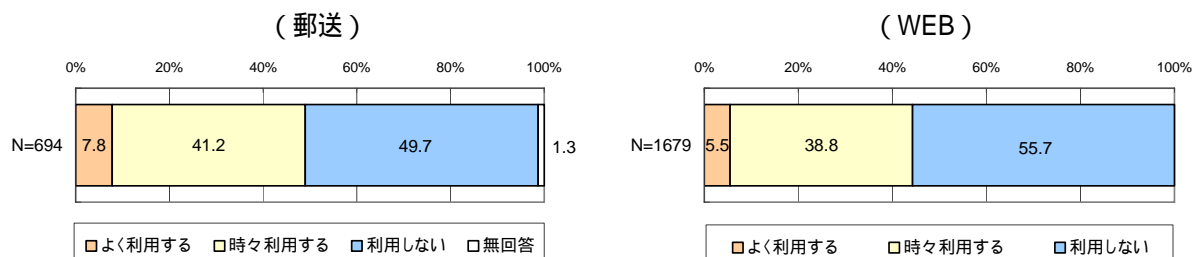
「よく利用する」「時々利用する」と答えた人は郵送調査で49%に止まった。理由としては、調査期間が黄砂の飛散が少ない12月であったことなどが考えられる。なお、この割合は都市によって大きな差があり、日本海側の都市で高い傾向が見られた。

黄砂情報の利用率（都市別）

福岡市（65%）、小樽市（58%）、那覇市（56%）、青森市（55%）、新潟市（49%）、堺市（47%）、熊谷市（40%）、千葉市（36%）、豊橋市（30%）

【WEB調査】

「よく利用する」「時々利用する」と答えた人は44%であった。



(2-1) 利用しない理由

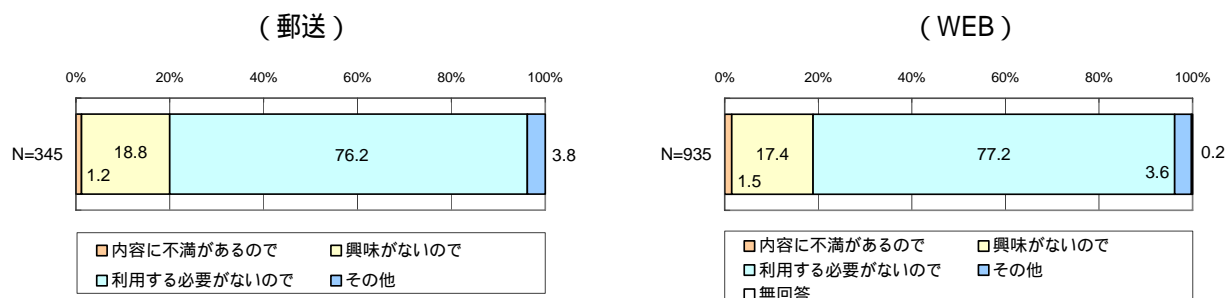
付問 7-2 . 利用しない理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がないので」と答えた人が76%と最も多かった。

【WEB 調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。



(3) 利用目的 (複数回答)

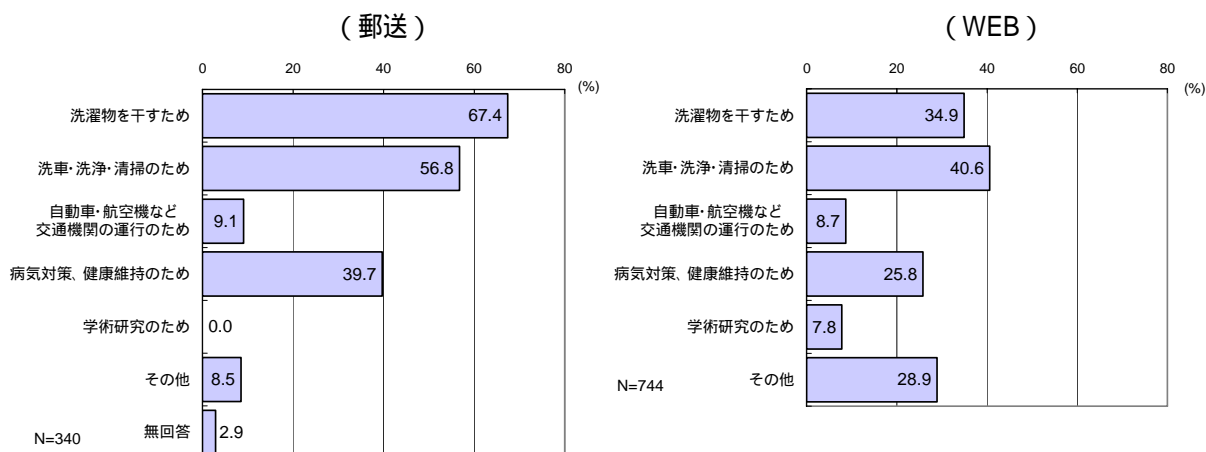
問 7-3 . 黄砂情報の利用目的は主に何ですか

【郵送調査】

「洗濯物を干すため」と答えた人が67%と最も多く、次いで「洗車・洗浄・清掃のため」が57%、「病気対策、健康維持のため」が40%と、上位を占めた。

【WEB 調査】

「洗車・洗浄・清掃のため」と答えた人が41%と最も多く、次いで「洗濯物を干すため」が35%、「病気対策、健康維持のため」が26%であった。なお、「その他」の自由回答では趣味や興味を挙げた人が多かった。



(4) 満足度

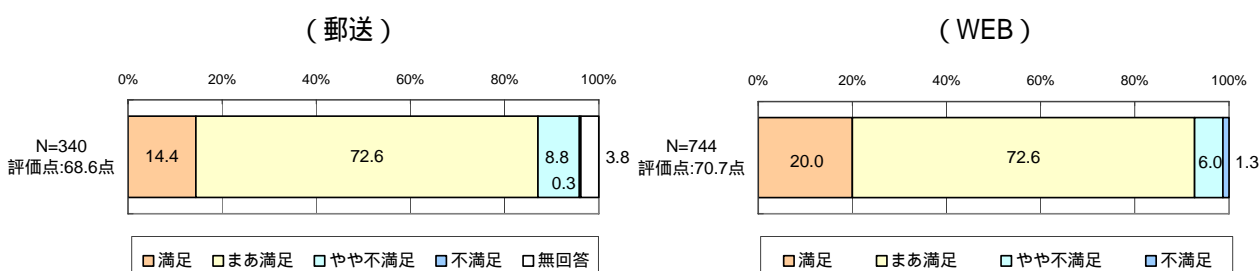
問 7-5 . 黄砂情報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」と答えた人の割合が 87%に達した。また、評価点も 69 点となっており、満足度は高い。ただし、「まあ満足」と答えた人が 73%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。

【WEB 調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。



(5) 不満に感じること (複数回答)

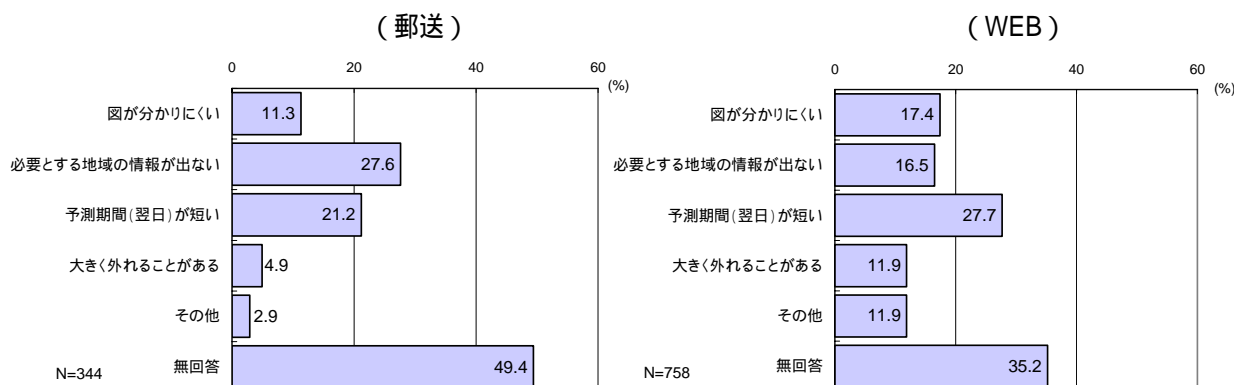
問 7-6 . 黄砂情報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

【郵送調査】

「必要とする地域の情報が出ない」と答えた人が 28%と最も多く、次いで「予測期間(翌日)が短い」が 21%であった。なお、無回答とした人も多かった。

【WEB 調査】

「予測期間(翌日)が短い」と答えた人が 28%と最も多かった。

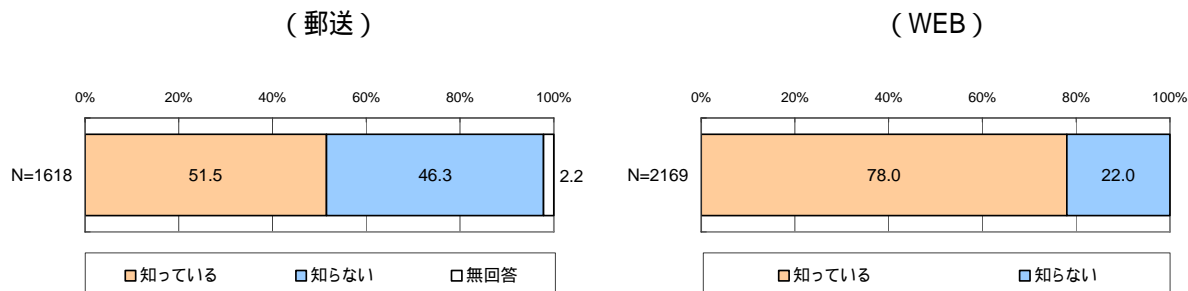


8 . 紫外線情報について

(1) 認知率

問 8-1 . 気象庁ホームページで紫外線情報を発表していることをご存知ですか。

郵送調査では、「知っている」と答えた人が 52%と約半数であった。一方、WEB 調査では、「知っている」と答えた人は 78%であり、認知率が高い。



(2) 利用率

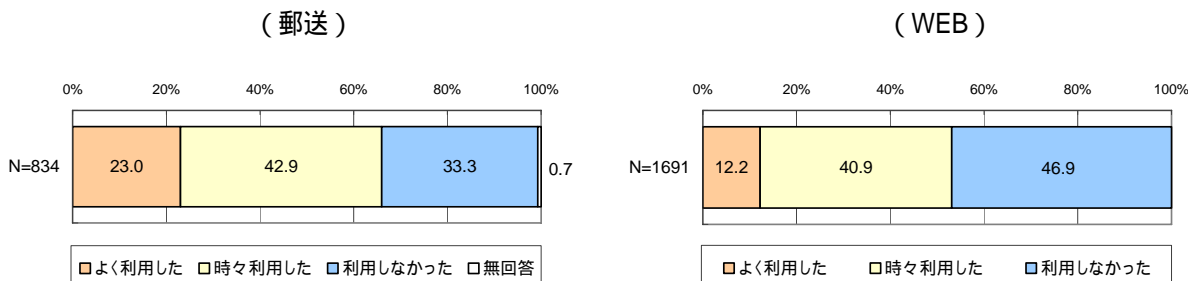
問 8-2 . この夏、紫外線情報をどの程度利用しましたか。

【郵送調査】

「時々利用した」と答えた人が 43%と最も多く、「よく利用した」「時々利用した」の合計は 66%であった。

【WEB 調査】

「利用しなかった」と答えた人が 41%と最も多く、「よく利用した」「時々利用した」の合計は 53%であった。郵送調査に比べると利用しなかった人の割合が高い。



(2-1) 利用しない理由

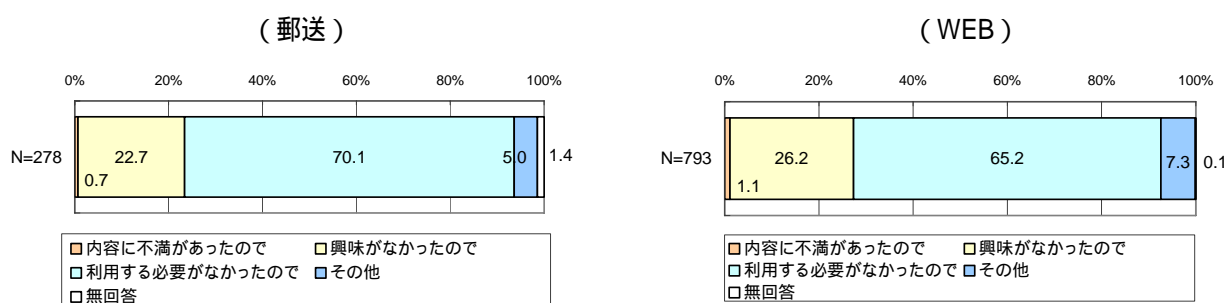
付問 8-2. 利用しなかった理由は何ですか。

【郵送調査】

「利用する必要がなかったので」と答えた人が 70%と最も多く、次いで、「興味がなかったので」が 23%であった。

【WEB 調査】

郵送調査とほぼ同様の傾向が見られた。



(3) 利用目的 (複数回答)

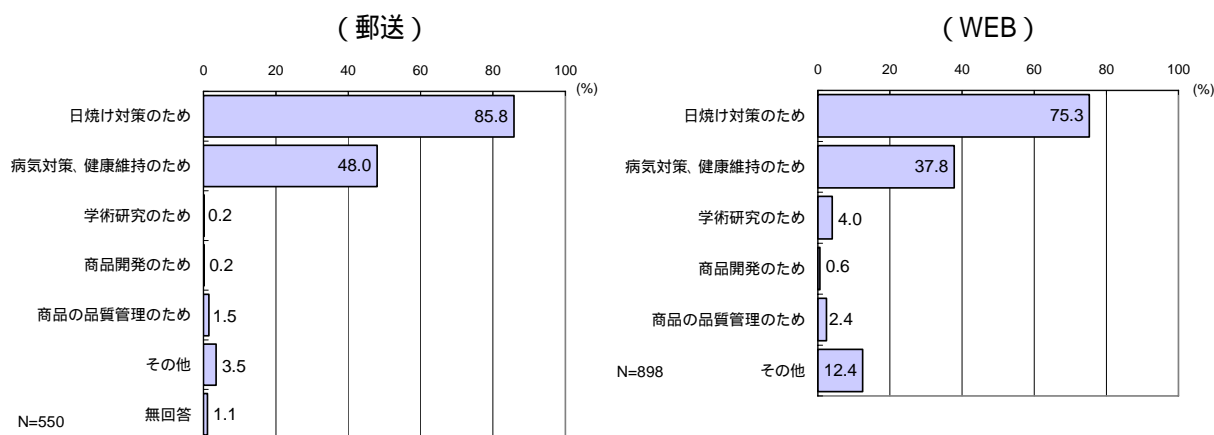
問 8-3. 紫外線情報は主にどのような目的で利用されていますか。

【郵送調査】

「日焼け対策のため」と答えた人が 86%と最も多く、次いで「病気対策、健康維持のため」が 48%であった。

【WEB 調査】

郵送調査と同様の傾向が見られた。



(4) 満足度

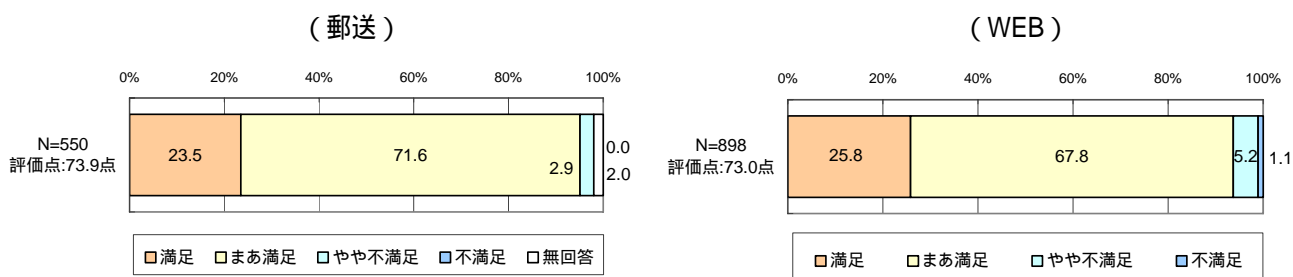
問 8-4 . 紫外線情報について、どの程度満足していますか。

【郵送調査】

「満足」「まあ満足」と答えた人の割合が 95%に達した。また、評価点も 74 点となっており、満足度は高い。ただし、「まあ満足」と答えた人が 72%と圧倒的であり、積極的な満足層は少ない。

【WEB 調査】

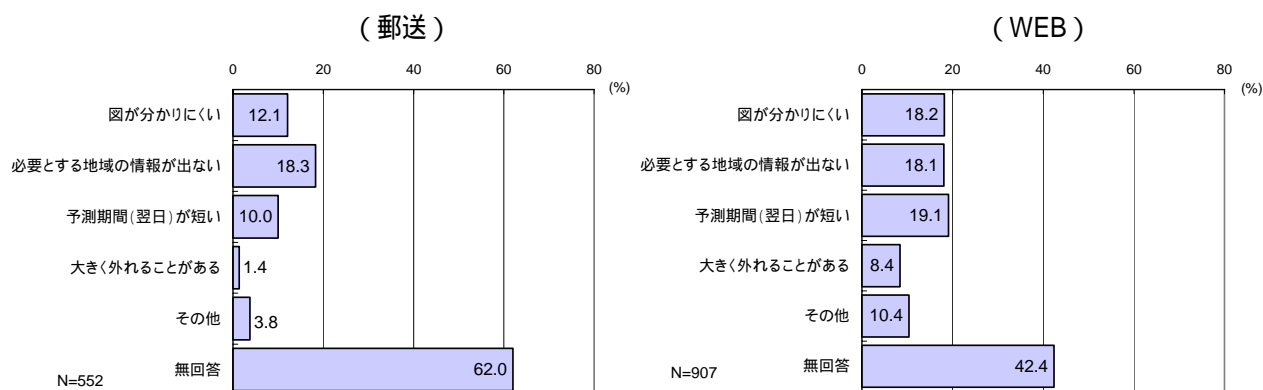
郵送調査と同様の傾向が見られた。



(5) 不満に感じること (複数回答)

問 8-6 . 紫外線情報について不満に感じることはありませんでしたら、あてはまるものをすべて選んでください。(利用者全員に質問)

郵送・WEB 調査とも無回答とした人が多く、各項目とも挙げた人の割合は低かった。



本調査結果については、平成 18 年 3 月 2 日に「気象業務の評価に関する懇談会」(座長：廣井 脩 東京大学大学院教授)から助言をいただいた。

気象庁「気象業務の評価に関する懇談会」委員名簿

(敬称略、50 音順)

座長	廣井 脩	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授
	石田 東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
	小林 昂	(株)BS 日本 代表取締役社長
	小室広佐子	東京国際大学国際関係学部助教授
	平 啓介	琉球大学監事
	田淵 雪子	(株)三菱総合研究所主席研究員
	矢野 厚	東日本電信電話(株)常務取締役

(参考) 前回アンケートを実施した平成 14 年度以降実施した天気予報の改善・充実のための施策

- ・予測手法、数値予報モデル等の改善(継続的)
- ・ひまわり 6 号の運用開始(H17.6)
- ・黄砂情報の提供開始(H16.1)
- ・紫外線情報の提供開始(H17.5)
- ・気象庁ホームページの充実(アクセス集中対策、JIS 規格準拠、電子閲覧室充実等)(継続的)
- ・「レーダー・アメダス解析雨量」と「降水短時間予報」を 30 分間隔で提供開始(H15.6)
- ・地域時系列予報、天気分布予報の発表時刻を 1 時間繰り上げ(H16.12)
- ・3 か月予報に力学的手法導入(H15.3)
- ・暖・寒候期予報に力学的手法導入(H15.9)

(参考) これまでに実施したアンケート調査

平成 13 年度	防災気象情報
平成 14 年度	天気予報
平成 15 年度	地球環境に関連する気象情報
平成 16 年度	防災気象情報
平成 17 年度	天気予報